

令和3年度
消防防災年報

福 井 県
〈令和4年刊行〉

目 次

〔消 防 編〕

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制	1
第2表 消防の概況表	2

第2章 火災の実態

1 概況	4
2 出火件数および損害額の状況	4
3 出火原因	4
4 火災による死者の状況	5
第1表 1日当たりの損害状況	5
第2表 令和3年火災発生状況と前年比較表	6
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移	7
第2図 過去10年間の死傷者数等の推移	7
第3図 火災発生件数の内訳	8
第4図 うち建物火災件数の内訳	8
第5図 損害額の内訳	8
第3表 令和3年月別火災発生状況表	9
第4表 市町別火災発生状況表	10
第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率	12
第6表 全火災の出火原因別損害状況表	14
第6図 全火災の出火原因別状況	14
第7表 死者の死因別発生状況表	15
第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表	15

第3章 救急業務の実態

1 救急体制	16
2 救急医療体制	16
3 救急活動状況	16
第1表 救急体制状況表	17
第2表 医療機関状況表	17
第3表 救急活動状況表	17
第4表 高速自動車道における救急活動状況表	17
第1図 過去10年間の救急活動の推移	18
第2図 出場件数の事故種別内訳	18
第3図 搬送人員の事故種別内訳	18

第4章 予防行政の概況

1 防火対象物定期点検報告制度	19
第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表	19
2 消防設備士試験および講習の状況	20
第2表 消防設備士試験実施状況表	20
第3表 消防設備士法定講習実施状況表	20

第5章 危険物規制

1 概況	21
第1図 危険物施設構成比	21
第2図 過去10年間の危険物施設の推移	21
第1表 施設別危険物施設数	22
第2表 指定数量別および類別危険物施設数	23

第3表	危険物施設に対する立入検査状況	24
第4表の1	容量別屋外タンク貯蔵所数	25
第4表の2	品名別屋外タンク貯蔵所数	25
第5表	危険物取扱者試験実施状況	26
第6表	危険物取扱者保安講習実施状況	26
2	危険物施設の火災および漏えい事故等	27
第7表	過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数	27

第6章 消防の概要

1	消防の組織	28
2	消防施設	28
3	民間防火組織	28
4	表彰	29
5	消防の現況	29
第1表	消防職団員数の推移	29
第2表	消防機関の現況	29
第3表	消防の概況	30
第4表	階級別消防職員数	31
第5表	階級別非常勤消防団員数	32
第6表	年齢別消防吏員および消防団員数	33
第7表	在職年数別消防吏員および消防団員数	34
第8表	消防ポンプ自動車等現有数（消防本部および署）	35
第9表	消防ポンプ自動車等現有数（消防団）	36
第10表	化学消火薬剤備蓄状況	37
第11表	消防水利の状況	38
第12表	消防機関の出動状況	39
第13表	消防吏員および団員の公務による死傷者数	39
第14表	火災通報施設等の現況	40
第15表	無線通信施設等の現況	41
第16表	幼年消防クラブの現況	42
第17表	少年消防クラブの現況	43
第18表	女性防火クラブの現況および活動状況	44
第19表	消防表彰受賞状況	45

第7章 消防教育訓練

1	消防学校の概要	46
2	教育訓練	46
第1表	令和3年度消防本部別受講者数	47
第2表	令和3年度消防学校教育訓練実施状況	48
第3表	令和3年度消防大学校派遣者数	48

〔防災編〕

第1章 災害の発生状況

1	令和3年中の災害発生状況	49
第1表	令和3年中の災害発生状況	49
2	過去5年間の災害発生状況	50

第2章 令和3年の天候概況

1	天候の特徴	60
2	月別気象概況	61

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練	6 5
II 原子力防災訓練	6 9
III 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況	7 6
IV 市町別自主防災組織の結成状況	7 7

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況	7 8
2 利用状況	8 0
3 多重局通信回数集計表	8 2
4 端末局無線通信回数調	8 3
5 非常通信訓練実施状況	8 4

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地	8 6
2 組織図	8 6
3 運航時間	8 6
4 活動業務	8 6
第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）	8 7

〔保安編〕

第1章 高压ガス保安

概況	8 8
第1表 市町別高压ガス関係事業所数	8 9
第2表 令和3年度高压ガス保安法申請等状況	9 0
第3表 令和3年度液化石油ガス法申請等状況	9 0
第4表 令和3年度高压ガス製造保安責任者試験実施状況	9 1
第5表 令和3年度高压ガス販売主任者試験実施状況	9 2
第6表 令和3年度液化石油ガス設備士試験実施状況	9 2
第7表 令和3年度高压ガス関係免状交付状況	9 2
第8表 令和3年度液化石油ガス関係免状交付状況	9 3
第9表 令和3年度高压ガス事故発生状況	9 3
第10表 令和3年度液化石油ガス事故発生状況	9 3

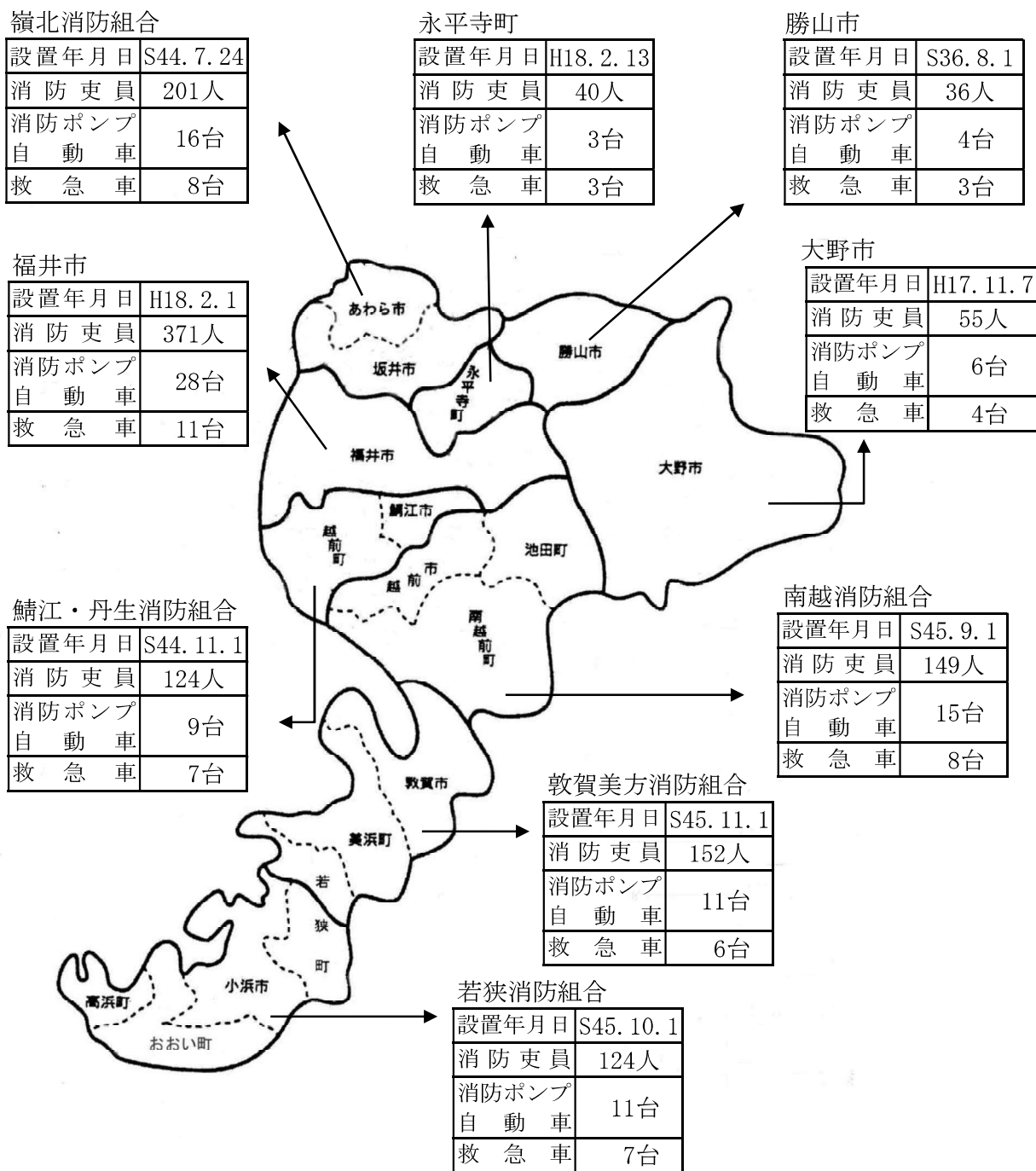
第2章 火薬類保安

概況	9 4
第1表 火薬類関係事業所数	9 4
第2表 銃砲関係事業所数	9 5
第3表 火薬類（爆薬）の消費量の推移	9 5
第4表 火薬類取扱および丙種火薬類製造保安責任者試験実施状況	9 5
第5表 令和3年度火薬類保安講習関係講習会実施状況	9 5
第6表 令和3年度火薬類許可申請等の状況	9 6
第7表 令和3年度事故発生状況	9 7

消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(令和4年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和4年4月1日現在）		4,190.58	km ²	
令和2年国勢調査(確定値) 人口		766,863	人	
推計人口(令和4年4月1日現在)		754,744	人	
推計世帯数(令和4年4月1日現在)		292,676	世帯	
65歳以上高齢者数(福井県の推計人口 令和3年10月1日現在)		233,283	人	
高齢化率（ ” ” ）		31.1	%	
地域別人口	福井坂井地区（令和2年国勢調査 確定値）	397,298	人	
	奥越地区	53,436	人	
	丹南地区	181,456	人	
	嶺南地区	134,673	人	
令和3年火災状況	火災件数	152	件	
	うち	建物火災件数	86	件
		林野火災件数	6	件
	建物焼損面積	5,884	m ²	
	林野焼損面積	499	a	
	損害額	494,337	千円	
	うち	建物火災	432,255	千円
	死者（自殺者数内数）	5(2)	人	
負傷者	30	人		
出火率(人口1万人に対する出火件数) ※人口: 令和3年3月31日現在		1.97	件	
令和3年救急状況	救急出場件数	28,757	件	
	うち	急病	17,930	件
		交通事故	1,851	件
		一般負傷	4,807	件
搬送人員		27,100	人	
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3	
		単独設置町	1	
		消防一部事務組合	5	
	消防署数		19	
	出張所数		26	
	消防職員	消防吏員	1,252	人
		その他の職員	26	人
合計		1,278	人	
消防団	消防団数		18	
	分団数		237	
	消防団員	非常勤団員数	5,858	人
		常勤団員数	—	
		合計	5,858	人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車		51 台	136 台	
水槽付消防ポンプ自動車		23 台	—		
はしご付消防ポンプ自動車		11 台	—		
屈折はしご付消防ポンプ自動車		2 台	—		
大型高所放水車		1 台	—		
泡原液搬送車		2 台	—		
化学消防自動車		15 台	—		
指揮車		20 台	—		
小型動力ポンプ付積載車		—	199 台		
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		29 台	98 台		
広報車		30 台	—		
資機材搬送車		28 台	—		
屈折放水塔車		0 台	—		
救急自動車		57 台	—		
救助工作車		15 台	—		
その他の車両		45 台	—		
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,897 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100㎡以上		118 基	
		60㎡以上 100㎡未満		109 基	
		40㎡以上 60㎡未満		4,951 基	
		20㎡以上 40㎡未満		471 基	
	井戸	公 設		80 個	
		私 設		—	
そ の 他			558 個		
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		66 局
			移動局		1,090 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	28 局
				同報受信設備	29,452 局
		移動無線	基地局	13 局	
			移動局	577 局	
		県	固定系	地上系	28 局
				衛星系	68 局
	移動系	基地局等	18 局		
		移動局等	221 局		
	テレビ監視装置				2 基
火災報知専用電話				91 回線	
消防電話				228 回線	

第2章 火災の実態

1 概況

令和3年中の火災発生件数は152件、死者5人、負傷者30人、損害額4億9,434万円、焼損棟数132棟、り災世帯数67世帯、り災人員168人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日135万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成25年中が最も多く、令和3年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は152件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が86件で全体の56.6%を占め、車両火災24件(15.8%)、林野火災6件(3.9%)、船舶火災1件(0.7%)、その他火災35件(23.0%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が37件(43.0%)で最も多く、次いで工場15件(17.4%)、事務所7件(8.1%)、共同住宅6件(7.0%)、複合用途(特定)4件(4.7%)、その他17件(19.8%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、出火件数の多い月が4月と12月で各19件、少ない月が9月と10月で各8件となっている。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は4億9,434万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が4億3,226万円で全体の87.4%を占め、次いでその他5,640万円(11.4%)となっている。火災1件当たりの損害額は約325万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、12月の損害額が約1億1,987万円で最も多く、7月が約45万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではたき火が最も多く13件で8.6%を占め、次いで、こんろ8件(5.3%)、たばこ8件(5.3%)、電灯電話等の配線8件(5.3%)、電気機器7件(4.6%)、ストーブ6件(3.9%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、火傷が3人、自殺が2人となっている。

また、令和3年中の死者に占める65歳以上の高齢者は4人で全体の約8割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

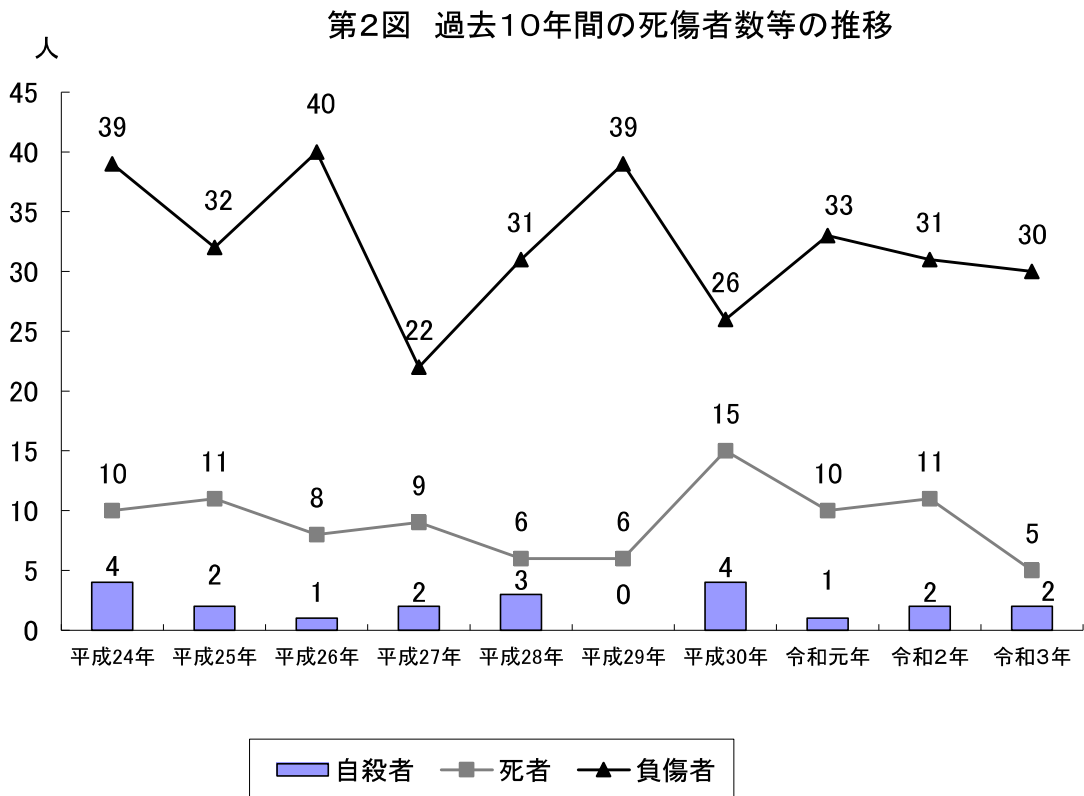
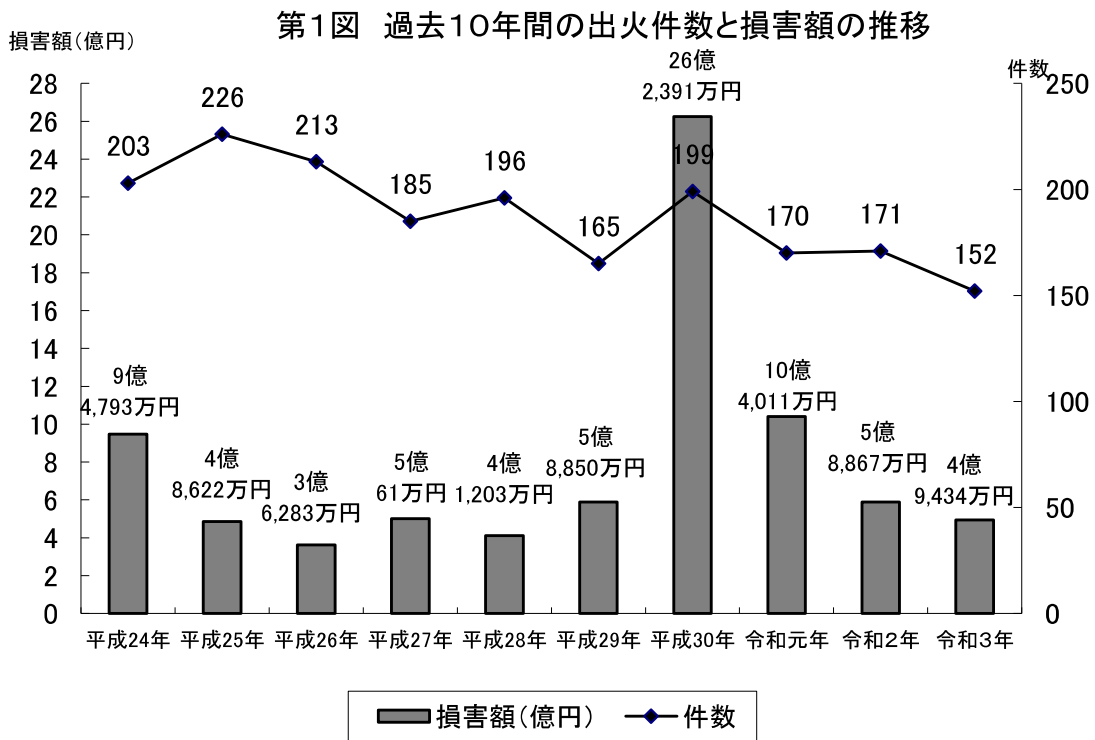
区 分	単位	令和3年 (A)	令和2年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.42	0.47	△0.05
損 害 額	万円	135	161	△26
焼 損 棟 数	棟	0.36	0.42	△0.06
り 災 世 帯 数	世帯	0.18	0.19	△0.01
り 災 人 員	人	0.46	0.49	△0.03

第2表 令和3年火災発生状況と前年比較表

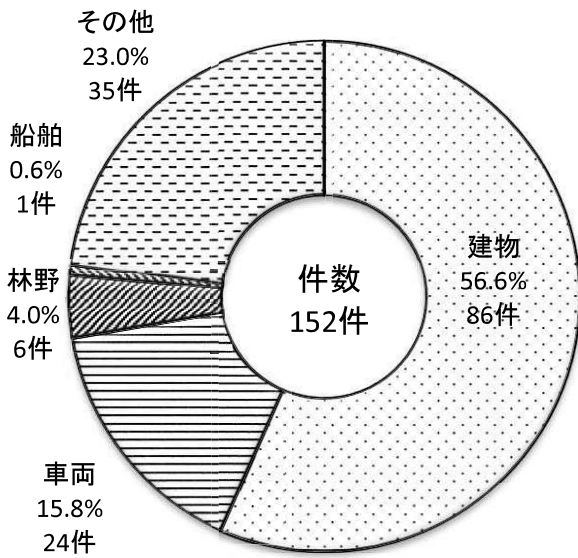
区 分	令和3年(A)	令和2年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	152	171	△ 19
建 物	86	101	△ 15
林 野	6	1	5
車 両	24	32	△ 8
船 舶	1	1	0
そ の 他	35	36	△ 1
焼 損 棟 数 (棟)	132	152	△ 20
全 焼	31	36	△ 5
半 焼	7	9	△ 2
部 分 焼	40	47	△ 7
ぼ や	54	60	△ 6
り 災 世 帯 数 (世 帯)	67	70	△ 3
全 損	15	19	△ 4
半 損	5	5	0
小 損	47	46	1
り 災 人 員 (人)	168	180	△ 12
建 物 焼 損 面 積 (m ²)	5,884	8,998	△ 3,114
林 野 焼 損 面 積 (a)	499	5	494
損 害 額 合 計 (千 円)	494,337	588,667	△ 94,330
建 物	432,255	543,277	△ 111,022
林 野	7	3	4
車 両	4,785	36,434	△ 31,649
船 舶	850	0	850
そ の 他	56,401	8,953	47,448
爆 発	39	0	39
死 者 (人)	5	11	△ 6
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(2)	(2)	0
建 物	3	9	△ 6
林 野	0	0	0
車 両	2	1	1
(2)	(2)	(1)	1
船 舶	0	0	0
そ の 他	0	1	△ 1
(0)	(0)	(1)	(△ 1)
負 傷 者 (人)	30	31	△ 1
建 物	23	19	4
林 野	1	0	1
車 両	2	3	△ 1
船 舶	0	1	△ 1
そ の 他	4	8	△ 4
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	1.97	2.20	

令和3年人口：令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

令和2年人口：令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

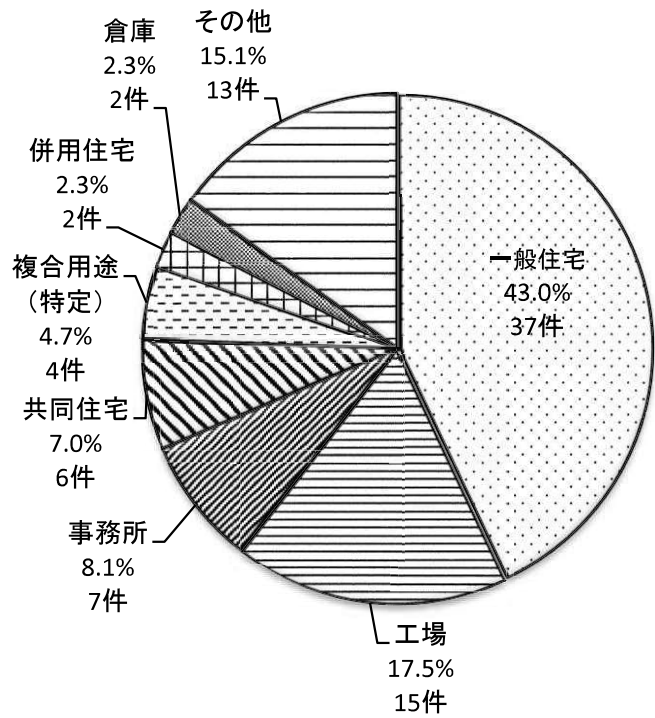


第3図 火災発生件数の内訳



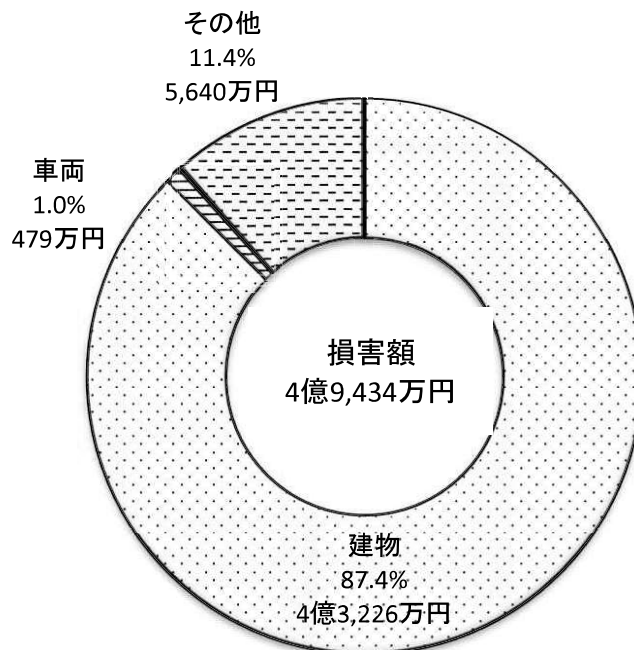
■建物 ■車両 ■林野 ■船舶 ■その他

第4図 うち建物火災件数の内訳



■一般住宅 ■工場
 ■事務所等 ■共同住宅
 ■複合用途(特定) ■併用住宅
 ■倉庫 ■その他

第5図 損害額の内訳



■建物 ■車両 ■林野 ■船舶 ■その他 ■爆発

第3表 令和3年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)					焼損棟数(棟)				焼損面積			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死()内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)								
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)	林野(a)	合計	全				半	小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	13	9	0	1	0	3	23	5	3	7	8	1,418	0	14	5	1	8	36	2	(1)	3	77,963	0	156	0	32	0
2	10	6	1	2	0	1	5	1	0	2	2	109	27	1	0	0	1	1	0	(0)	2	7,025	0	353	0	0	39
3	9	4	1	2	0	2	4	1	1	0	2	225	2	3	1	1	3	1	(0)	1	3,924	0	188	0	0	0	0
4	19	11	3	1	0	4	15	7	0	2	6	588	56	7	2	0	5	16	(0)	5	21,534	0	155	0	36	0	0
5	14	9	0	2	0	3	14	4	0	6	4	521	0	6	2	0	4	12	(0)	0	35,136	0	532	0	14	0	0
6	12	7	0	2	1	2	6	0	1	5	3	36	0	2	0	0	2	7	(1)	4	20,404	0	200	850	7	0	0
7	13	3	0	1	0	9	3	0	0	3	0	414	0	2	0	0	2	7	(0)	0	447	0	12	0	373	0	0
8	15	7	0	4	0	4	15	3	1	6	5	626	0	13	3	1	9	34	(0)	3	49,865	0	523	0	1,459	0	0
9	8	5	0	1	0	2	5	0	0	5	0	0	0	2	0	0	2	2	(0)	3	2,476	0	13	0	0	0	0
10	8	4	0	1	0	3	7	1	0	3	3	243	0	0	0	0	0	0	(0)	2	56,575	0	73	0	54,477	0	0
11	12	7	0	3	0	2	12	4	1	4	3	967	0	4	0	2	2	9	(0)	4	99,115	0	2,287	0	3	0	0
12	19	14	1	4	0	0	23	5	1	9	8	1,151	0	13	2	0	11	41	(0)	3	119,873	7	293	0	0	0	0
計	152	86	6	24	1	35	132	31	7	40	54	5,884	499	67	15	5	47	168	(2)	30	494,337	432,255	7	4,785	850	56,401	39

第4表 市町別火災発生状況表

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)				り災人員(人)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	
福井市	48	27	0	8	0	0	13	50	9	2	16	23	32	8	1	23	76
敦賀市	10	7	0	3	0	0	0	8	1	0	3	4	4	1	0	3	12
小浜市	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	3
大野市	3	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	3	1	0	2	5
勝山市	8	4	2	1	0	0	1	5	2	0	3	0	1	1	0	0	2
鯖江市	16	11	0	1	0	0	4	17	3	0	5	9	8	1	0	7	22
あわら市	8	5	2	1	0	0	0	6	2	0	1	3	1	0	0	1	1
越前市	13	7	1	3	0	0	2	12	3	2	2	5	5	1	2	2	13
坂井市	16	9	1	4	0	0	2	13	3	0	6	4	6	1	0	5	17
市計	124	74	6	21	0	0	23	115	24	4	36	51	61	14	3	44	151
永平寺町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	5	2	0	1	0	0	2	3	1	0	1	1	3	0	1	2	10
越前町	7	5	0	0	0	0	2	7	2	2	2	1	2	1	0	1	6
美浜町	2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1
高浜町	5	4	0	0	0	0	1	6	4	0	1	1	0	0	0	0	0
おおい町	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若狭町 (内訳)	4	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧三方町 敦賀美方消防管轄	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町計	28	12	0	3	1	0	12	17	7	3	4	3	6	1	2	3	17
県計	152	86	6	24	1	0	35	132	31	7	40	54	67	15	5	47	168

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

期間: 令和3年1月1日～令和3年12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m ²)	建 物 表 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
2	15	1,854	744	0	147,200	144,710	0	614	0	1,876	0
0	0	83	3	0	7,044	6,091	0	953	0	0	0
0	0	0	0	0	17	3	0	0	0	14	0
1	3	210	0	0	3,203	3,203	0	0	0	0	0
0	4	481	0	51	60,003	4,103	0	1,500	0	54,400	0
1	1	750	7	414	124,272	124,272	0	0	0	0	0
0	1	220	87	29	28,930	28,650	0	280	0	0	0
0	3	461	37	5	30,395	30,285	0	103	0	7	0
1	1	210	149	0	25,792	25,080	7	666	0	0	39
5	28	4,269	1,027	499	426,856	366,397	7	4,116	0	56,297	39
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	1	106	63	0	7,057	6,834	0	223	0	0	0
0	0	1111	11	0	49,485	49,468	0	0	0	17	0
0	0	15	6	0	841	397	0	444	0	0	0
0	0	383	0	0	9,161	9,159	0	0	0	2	0
0	0	0	0	0	850	0	0	0	850	0	0
0	0	0	0	0	87	0	0	2	0	85	0
0	0	0	0	0	87	0	0	2	0	85	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	2	1,615	80	0	67,481	65,858	0	669	850	104	0
5	30	5,884	1,107	499	494,337	432,255	7	4,785	850	56,401	39

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	48	147,200	6	25,808	2	130	2	339	6	16,962	3	172	1	50
敦賀市	10	7,044	0	0	0	0	0	0	1	155	2	2,783	1	0
小浜市	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14	0	0
大野市	3	3,203	0	0	0	0	1	3,000	1	92	0	0	0	0
勝山市	8	60,003	1	2,953	1	1,132	0	0	2	0	1	18	1	0
鯖江市	16	124,272	1	165	2	5,444	1	0	2	1,324	0	0	2	57
あわら市	8	28,930	0	0	1	0	1	0	0	0	1	164	1	17,105
越前市	13	30,395	1	16,976	0	0	1	67	3	98	0	0	2	28
坂井市	16	25,792	1	41	3	96	2	121	0	0	3	23,218	1	150
市 計	124	426,856	10	45,943	9	6,802	8	3,527	15	18,631	11	26,369	9	17,390
永平寺町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
南越前町	5	7,057	0	0	1	223	0	0	1	45	1	0	0	0
越前町	7	49,485	2	32,020	0	0	0	0	1	2,481	0	0	2	2,164
美浜町	2	841	0	0	0	0	1	397	0	0	0	0	0	0
高浜町	5	9,161	0	0	0	0	0	0	1	377	1	8,767	0	0
おおい町	3	850	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	850
若狭町 (内訳)	4	87	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
旧三方町 <small>敦賀美方消防管轄</small>	3	87	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
町 計	28	67,481	3	32,020	1	223	1	397	4	2,903	3	8,767	3	3,014
県 計	152	494,337	13	77,963	10	7,025	9	3,924	19	21,534	14	35,136	12	20,404

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和3年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:令和3年1月1日～令和3年12月31日

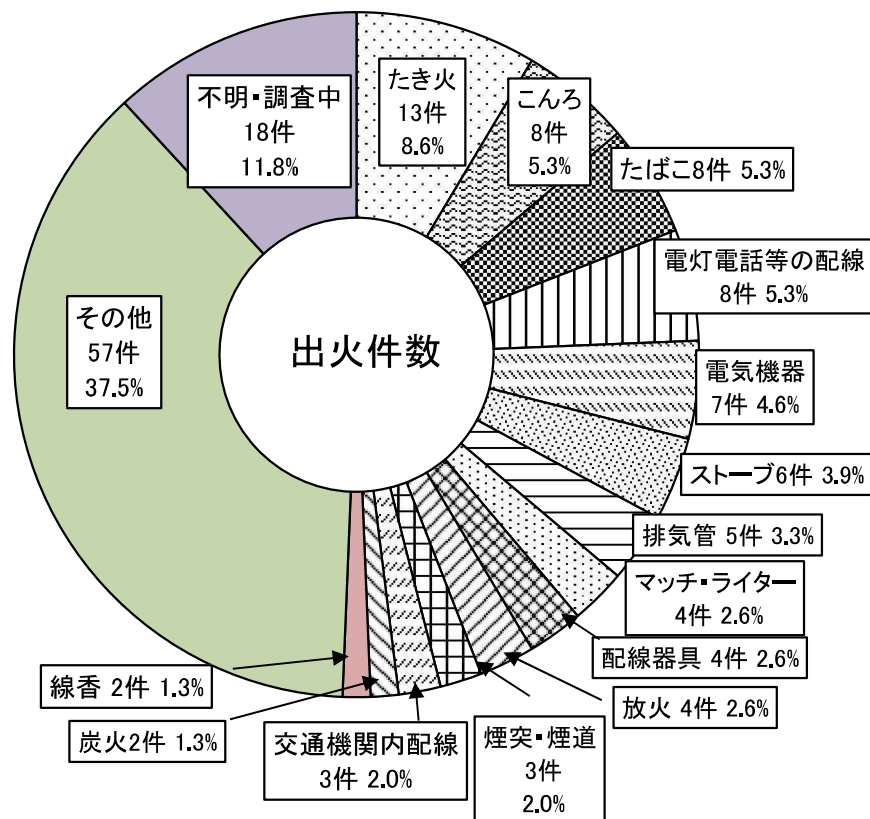
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
5	303	7	49,330	5	2,462	3	150	2	14	6	51,480	1.84
0	0	0	0	0	0	1	50	1	785	4	3,271	1.55
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0.69
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	111	0.94
0	0	0	0	0	0	1	54,400	1	1,500	0	0	3.57
3	40	2	48	0	0	0	0	1	65,563	2	51,631	2.31
1	19	0	0	0	0	1	99	1	11,263	1	280	2.91
1	0	2	41	0	0	0	0	1	12,915	2	270	1.58
1	0	0	0	1	13	1	1,862	2	284	1	7	1.77
11	362	11	49,419	6	2,475	7	56,561	9	92,324	18	107,053	1.83
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.55
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.12
0	0	0	0	1	0	0	0	1	6,789	0	0	4.90
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	12,820	3.36
0	0	1	444	0	0	0	0	0	0	0	0	2.18
0	0	1	2	1	1	1	14	0	0	0	0	4.93
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.68
2	85	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	2.79
2	85	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	85	4	446	2	1	1	14	3	6,791	1	12,820	2.99
13	447	15	49,865	8	2,476	8	56,575	12	99,115	19	119,873	1.97

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和3年1月1日～令和3年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
た き 火	13	76	3	0	534
こ ん ろ	8	419	9	3	88,188
た ば こ	8	40	5	4	2,458
電灯電話等の配線	8	319	5	1	10,051
電 気 機 器	7	390	7	2	52,118
ス ト ー ブ	6	611	9	6	32,853
排 気 管	5	0	0	0	598
マッチ・ライター	4	0	3	2	272
配 線 器 具	4	320	4	2	11,275
放 火	4	245	13	8	18,254
煙 突 ・ 煙 道	3	125	5	2	7,223
交通機関内配線	3	0	1	0	2,335
炭 火	2	155	6	4	22,242
線 香	2	413	2	2	16,851
そ の 他	57	1,761	39	15	157,235
不 明 ・ 調 査 中	18	1,010	21	16	71,850
合 計	152	5,884	132	67	494,337

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	0	3	0	0	0	0	3
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	2	0	0	2
そ の 他 火 災	0	0	0	0	0	0	0
合 計 (人)	0	3	0	2	0	0	5

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる													0
判断力・体力条件のため										1	1		2
人の救助のため逃げる機会を失う													0
身体不自由のため逃げきれず													0
放火自殺								1		1			2
不明・調査中											1		1
合計(人)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0	5

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故または屋外もしくは公衆の出入りする場所、あるいは屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和4年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車57台(全て高規格救急自動車)、救急隊49隊、救急隊員559名(うち救急救命士248名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和3年4月1日現在、第2表のとおり51施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は28,757件、搬送人員は27,100人となっている。県内1日あたりの出場件数は79件となり、約18分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともに平成30年まで増加傾向にあったが、令和元年は災害や猛暑日が少なく平成30年との比較で3%減少した。さらに、令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、令和元年との比較で13%減少し、出場件数と搬送人員が過去10年で最少となった。一方で、令和3年は、活動の制限が緩和されたことに伴って救急需要も回復し、令和2年との比較で10%増加した。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が17,930件で、全体の62.4%を占め、次いで一般負傷4,807件(16.7%)、交通事故1,851件(6.4%)などとなっている。搬送人員では急病が16,864人で全体の62.2%を占め、次いで一般負傷4,564人(16.8%)、交通事故1,939人(7.2%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

令和4年4月1日現在

消防本部名	救急自動車			救急隊員						救急隊
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計		合計
				救急救命士		救急救命士		救急救命士		
福井市	11	0	11	81	54	9	0	90	54	9
大野市	4	0	4			47	16	47	16	4
勝山市	3	0	3			27	10	27	10	2
永平寺町	3	0	3			33	15	33	15	2
嶺北消防組合	8	0	8			100	37	100	37	8
鯖江・丹生消防組合	7	0	7			96	37	96	37	6
南越消防組合	8	0	8			74	26	74	26	8
敦賀美方消防組合	6	0	6	13	9	23	18	36	27	5
若狭消防組合	7	0	7	6	4	50	22	56	26	5
合計	57	0	57	100	67	459	181	559	248	49

第2表 医療機関状況表

令和4年4月1日現在

種別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
救急告示医療機関	7	5	28	11	51
その他の医療機関	15	7	18	435	475
合計	22	12	46	446	526

第3表 救急活動状況表

(令和3年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	28,757	77	8	50	1,851	322	204	4,807	43	241	17,930	3,224
搬送人員	27,100	25	3	25	1,939	316	205	4,564	35	154	16,864	2,970

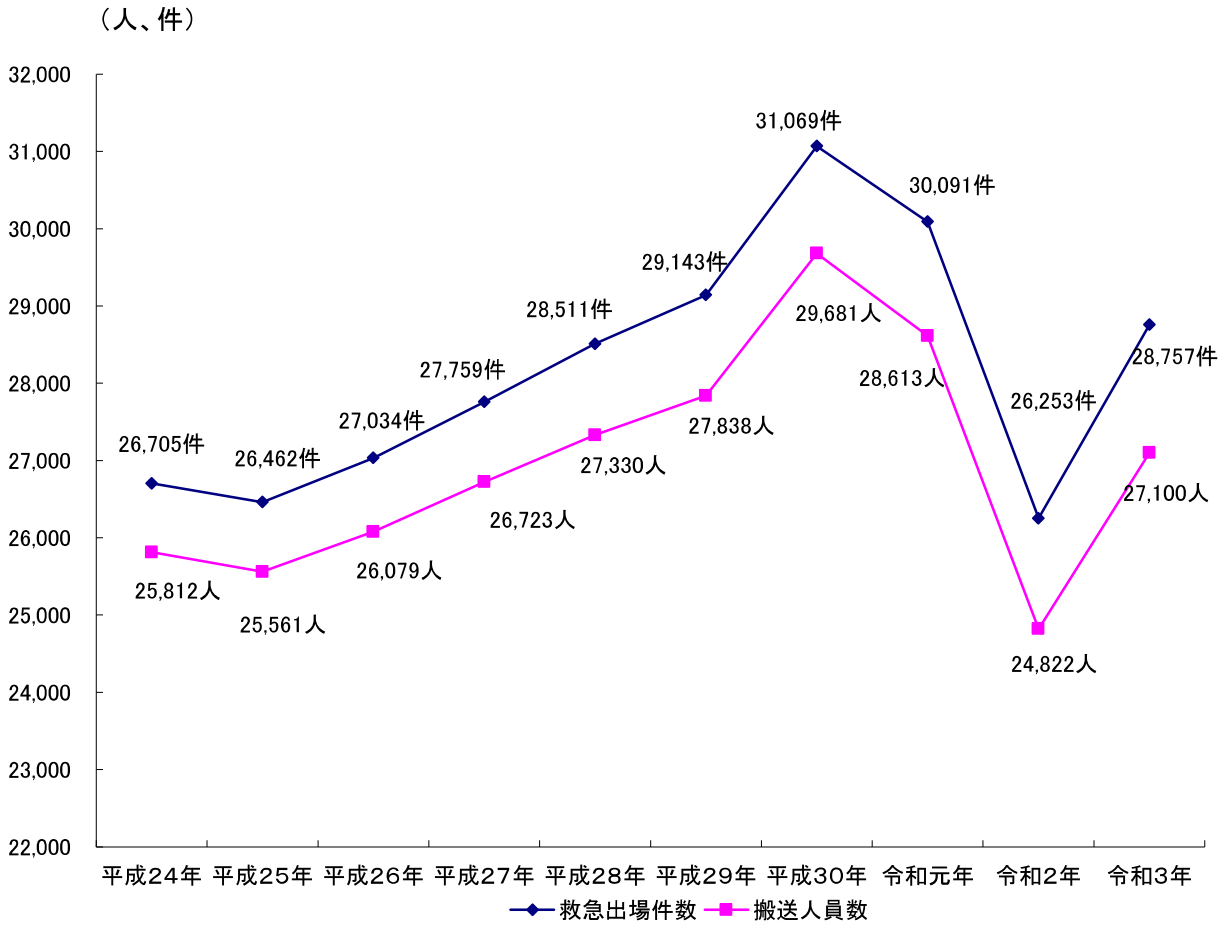
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(令和3年中)

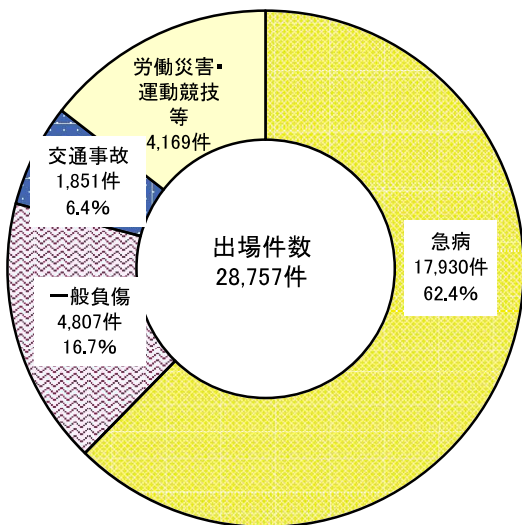
高速道路名	北陸自動車道										小計
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部		
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀			
救急出動数	4	9	0	1		6	13	7	17		57
搬送人員	2	9	0	1		10	11	10	21		64

高速道路名	舞鶴若狭自動車道										小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部					若狭消防組合消防本部						
I C 名	敦賀南	若狭美浜	若狭三方	三方五湖	三方五湖	若狭上中	小浜	小浜西	大飯高浜			
救急出動数	0	0	2	2	0	0	4	0	2	10		67
搬送人員	0	0	2	1	0	0	5	0	2	10		74

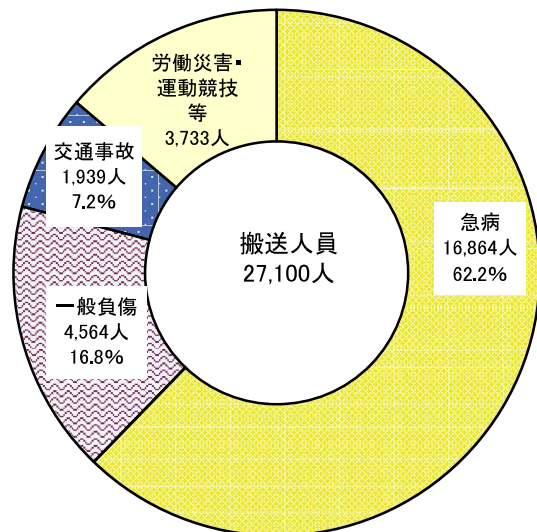
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予防行政の概況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和3年4月1日から令和4年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分		点検を要する防火対象物数		点検報告済防火対象物数		特例認定済防火対象物数		
		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	34		15		8	
	ロ	公会堂または集会場	222		121		60	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	55		29		10	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	3	4		4		
	ロ	飲食店	6	30	2	15		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	194	15	144	6	6	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	37	76	19	22	9	34
6	イ	病院、診療所または助産所	38	9	15		10	4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	2	4	4	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	4	1	3	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3		1			
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	200	29	102	7	27	2
16の2		地下街						
合計			804	173	454	61	135	41

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…令和4年3月31日
- ・調査期間…令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて642人の受験者に対して302人が合格し、合格率は47.0%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は630人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：令和3年8月1日（日）

令和4年1月30日（日）

令和4年2月6日（日）

令和4年2月19日（土）

区 分	令和3年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	7		0		0.0%		0		19	
第 1 類	66	35	27	12	40.9%	34.3%	26	11	1,322	358
第 2 類	32	6	9	3	28.1%	50.0%	10	3	384	114
第 3 類	34	15	17	5	50.0%	33.3%	16	5	324	75
第 4 類	144	95	64	40	44.4%	42.1%	58	33	2,974	1,236
第 5 類	25	14	11	6	44.0%	42.9%	12	5	342	135
第 6 類		198		100		50.5%		91		2,426
第 7 類		104		60		57.7%		38		3,436
計	308	467	128	226	41.6%	48.4%	122	186	5,365	7,780

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	110	令和3年7月13日（火） 令和3年 8月17日（火）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	153	令和3年7月14日（水） 令和3年 8月18日（水）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	323	令和3年7月15日（木） 令和3年7月16日（金） 令和3年 8月19日（木） 令和3年 8月20日（金）
合 計		586	

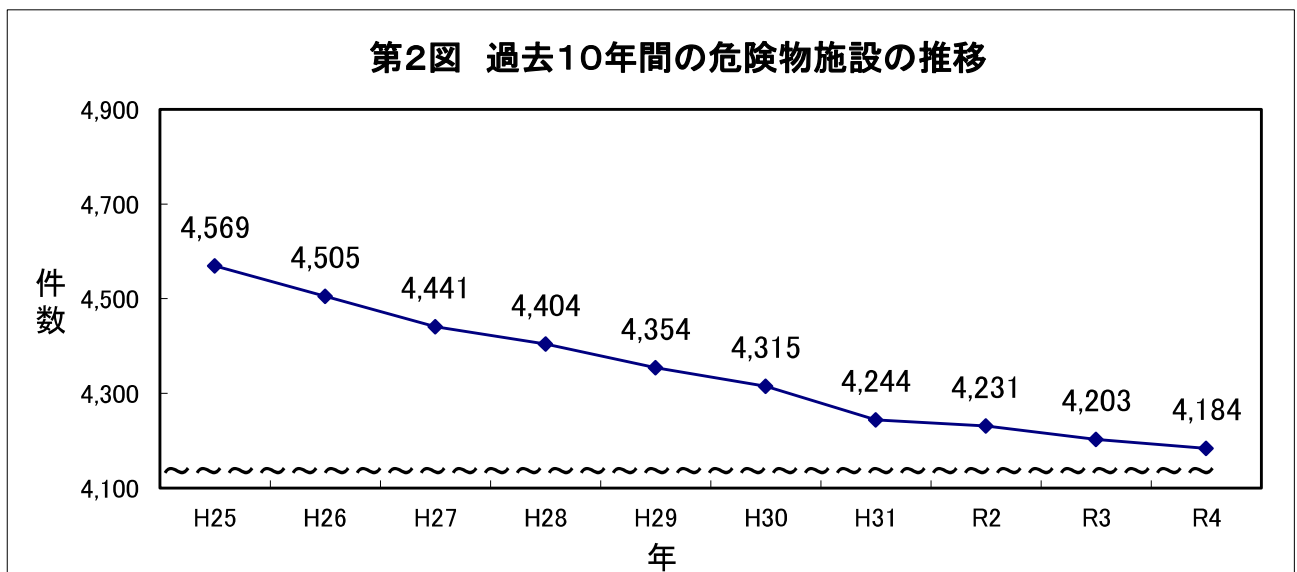
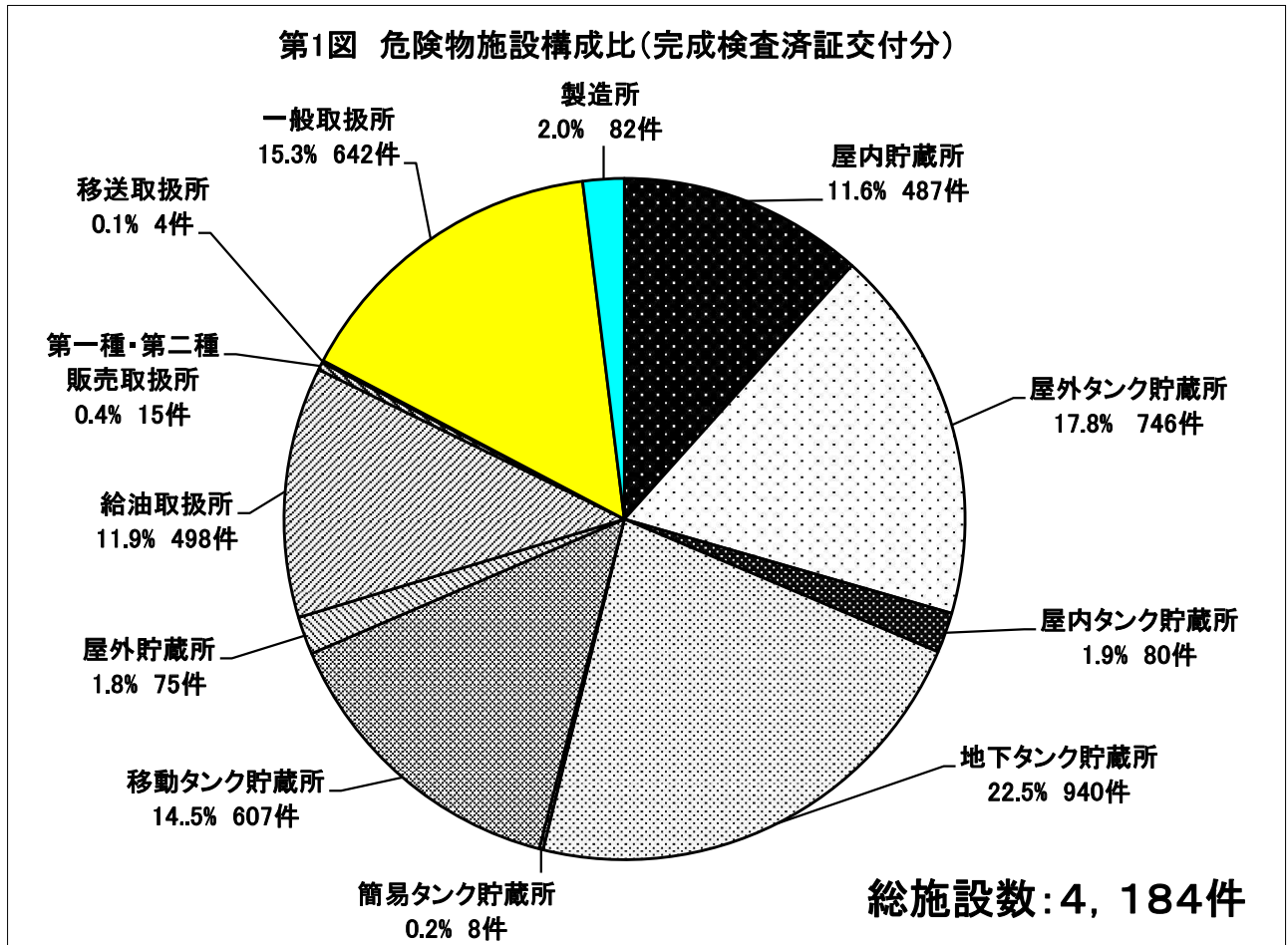
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和4年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し19件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

令和4年3月31日現在

危険物施設の別 消防本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A + B + C)	事 業 所	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所			小 計 (C)
福 井 市	24	111	192	5	20	26	252	1	172	18	772	126	8	0	1	136	271	1,067	502
大 野 市	0	8	17	0	0	0	49	0	33	0	107	21	0	0	0	28	49	156	90
勝 山 市	3	9	25	0	0	1	43	0	14	2	94	16	0	0	0	20	36	133	76
永 平 寺 町	0	5	4	0	0	2	19	0	16	0	46	7	0	0	0	11	18	64	36
嶺北消防組合	34	107	190	3	34	11	164	1	110	22	605	85	0	0	2	167	254	893	302
鯖江・丹生消防組合	5	64	55	0	0	6	106	0	44	9	284	42	2	4	0	50	98	387	274
南越消防組合	13	74	109	0	0	11	109	2	75	11	391	62	0	0	0	69	131	535	240
敦賀美方消防組合	1	61	102	7	8	14	122	0	90	10	399	89	0	0	1	99	189	589	222
若狭消防組合	2	48	52	0	0	9	76	4	53	3	245	50	1	0	0	62	113	360	155
合 計	82	487	746	15	62	80	940	8	607	75	2,943	498	11	4	4	642	1,159	4,184	1,897

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和4年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所									取扱所						合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計 (C)	
				特定屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所														
5倍以下	3	221	123			55	491	8	451	16	1,365	35	5			274	314	1,682	
5倍を超えて10倍以下	10	103	99			20	221		14	28	485	52	4			156	212	707	
10 " 50 "	37	88	256			5	158		29	28	564	133	2	4		124	263	864	
50 " 100 "	15	22	89				36		85	2	234	65				38	103	352	
100 " 150 "	3	28	48				19		27		122	52				17	69	194	
150 " 200 "		9	9	1			6			1	25	56				9	65	90	
200 " 1,000 "	14	13	58	9	3		9		1		81	104				17	121	216	
1,000 " 5,000 "		3	23	5	18						26	1				3	4	30	
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			38		38						38				4	2	6	44	
合計	82	487	746	15	62	80	940	8	607	75	2,943	498	11	4	4	642	1,159	4,184	
単独	第1類	1	9								9							10	
	第2類	1	4						1		5					3	3	9	
	第3類		3								3					5	5	8	
	第4類	57	424	742	15	62	80	940	8	606	74	2,874	498	11	4	4	612	1,129	4,060
	第5類	1	17	2								19							20
	第6類			2								2							2
混在	22	30								1	31					22	22	75	
合計	82	487	746	15	62	80	940	8	607	75	2,943	498	11	4	4	642	1,159	4,184	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。

2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和3年4月1日から
令和4年3月31日まで

危険物施設の別 消防本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A+B+C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	16	34	144	8	98		168	13	465	86	1		1	140	228	709
	延回数	21	35	151	10	103		168	13	480	97	1		1	147	246	747
大 野 市	検査施設数							31		31	4					4	35
	延回数							31		31	4					4	35
勝 山 市	検査施設数	1	5	9	1	19		17	1	52	5				8	13	66
	延回数	1	5	9	2	19		17	1	53	5				8	13	67
永 平 寺 町	検査施設数		5	5	2	20		15		47	6				11	17	64
	延回数		5	5	2	20		15		47	6				11	17	64
嶺北消防組合	検査施設数	14	27	100	4	61		88	6	286	63			3	69	135	435
	延回数	14	27	100	4	62		88	6	287	63			3	69	135	436
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	4	10	24	1	87			3	125	16				23	39	168
	延回数	4	10	24	1	87			3	125	16				23	39	168
南越消防組合	検査施設数	4	14	12	4	44		6	1	81	16				12	28	113
	延回数	5	14	12	4	44		7	1	82	16				13	29	116
敦賀美方消防組合	検査施設数		21	41	6	53		86	4	211	48				36	84	295
	延回数		21	41	6	53		86	4	211	48				36	84	295
若狭消防組合	検査施設数	2	15	31	7	29	2	38	1	123	35				30	65	190
	延回数	2	15	36	7	29	2	38	1	128	39				31	70	200
合 計	検査施設数	41	131	366	33	411	2	449	29	1,421	279	1		4	329	613	2,075
	延回数	47	132	378	36	417	2	450	29	1,444	294	1		4	338	637	2,128

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和4年3月31日現在

消防本部分 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	丹	消	美	消	
					防	生	防	方	防	
					組	消	組	消	組	
					合	防	合	防	合	
					合	組	合	組	合	
					計	合	計	計	計	
100kl未満	150	17	25	4	134	38	101	62	46	577
100kl～500kl未満	17	0	0	0	19	17	8	25	6	92
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	8	0	27
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合計	192	17	25	4	190	55	109	102	52	746

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和4年3月31日現在

品名別 容量別	第4類											第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第4	アル	そ	小	計		
	油	フ	ソ	油	油	油	石	コ	の	計	(A)		
		サ	リ				油	ール	他	(A)			
			ン				類	類					
100kl未満	0	0	0	69	34	161	21	59	229	573	4	577	
100kl～500kl未満	0	0	0	3	16	39	9	0	25	92	0	92	
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15	0	15	
1,000kl～5,000kl未満	0	0	6	3	4	7	0	0	7	27	0	27	
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3	
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30	
合計	33	0	7	77	55	217	30	59	264	742	4	746	

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		平成30年度 合 格 率 (%)	令和元年度 合 格 率 (%)	令和2年度 合 格 率 (%)	令和3年度		
					受 験 者 数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲 種		37.9	39.6	36.2	219	100	45.7
乙 種	第 1 類	63.0	68.3	63.2	181	122	67.4
	第 2 類	71.8	66.7	69.2	151	103	68.2
	第 3 類	59.6	70.2	70.3	177	133	75.1
	第 4 類	37.8	38.8	37.3	2,536	806	31.8
	第 5 類	65.0	71.9	70.1	176	132	75.0
	第 6 類	63.2	58.8	59.2	183	121	66.1
	小 計	45.4	46.5	45.5	3,404	1,417	41.6
丙 種		51.2	49.0	57.2	528	270	51.1
合 計		46.0	46.5	46.6	4,151	1,787	43.0

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		平成30年度 受講者数 (人)	令和元年度 受講者数 (人)	令和2年度 受講者数 (人)	令和3年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		425	461	399	446	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		44	51	45	37	1
そ の 他		1,647	1,584	1,580	1,789	19
合 計		2,116	2,096	2,024	2,272	28

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、令和3年が9件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、移動タンク貯蔵所での事故が9件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					そ の 他 (D)	合 計 (A+B+C+D)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所
平成29年	火 災	1							0						0		1
	漏えい				1				1						0		1
	その他								0				1	1			1
平成30年	火 災								0					1	1		1
	漏えい							2	2	1					1		3
	その他	1							0	1					1		2
令和元年	火 災	3							0						0		3
	漏えい							3	3						0		3
	その他							2	2						0		2
令和2年	火 災								0					1	1		1
	漏えい							1	1					1	1		2
	その他								0						0		0
令和3年	火 災	1							0					2	2		3
	漏えい			1	1			1	3	1				1	2		5
	その他								0	1					1		1
火 災 計		5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	9
漏えい 計		0	0	1	0	2	0	7	0	10	2	0	0	2	4	0	14
その他 計		1	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	1	3	0	6
総 計		6	0	1	0	2	0	9	0	12	4	0	0	7	11	0	29

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

第6章 消防の概要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和4年4月1日現在で1,252名である。

また、消防団員数は令和4年4月1日現在で5,858名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」(会長：消防庁長官)が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245	1,252
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874	5,858

第2表 消防機関の現況

区 分		令和3年4月(A)	令和4年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	27	26	△1
	消防職員数	1,245	1,252	7
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	238	237	△1
	消防団員数	5,874	5,858	△16

第3表 消防の概況

令和4年4月1日現在

区分	消防本部・署所						消防団						消防水利			基地局および固定局	移動局			
	設置別		消防署数	出張所数	（実吏員数）	自普通消防ポンプ自動車数	自水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		自普通消防ポンプ自動車数	小型動力ポンプ積載車	付小型動力ポンプ積載車			消火栓（公設）	防火水槽	
	消防本部のみ設置	消防本部署を併設									計	非常勤							4	20
消防本部名																				
福井市	○		4	13	371	17	3	1	54		992	1	52	41	9,592	827	30	15	171	
大野市		○	1	1	55	4		1	10		440	10	21		488	313	25	3	37	
勝山市		○	1		36	3	1	1	12		291	2	11		433	202	13	15	42	
永平寺町		○	1		40		3	1	11		345	10	10		179	253	11	3	27	
嶺北消防組合		○	4	1	201	6	4	2	33		706	36	6		1,609	1,233	104	4	131	
鯖江・丹生消防組合		○	1	4	124	5	1	2	36		577	34	3	3	1,664	901	38	5	254	
南越消防組合		○	3	2	149	7	4	3	32		806	11	26		2,519	688	33	7	155	
敦賀美方消防組合		○	3	1	152	3	4	3	16		738	23	31	5	1,327	236	162	8	137	
若狭消防組合		○	1	4	124	6	3	4	33		963	9	39	49	1,086	525	55	6	136	
計	1	8	19	26	1,252	51	23	18	237	0	5,858	136	199	98	18,897	5,178	471	66	1,090	

第4表 階級別消防職員数

令和4年4月1日現在

区分	消防職員														条例定数	
	消防吏員(実員)										その他の職員					
	消防司令	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員	技術職員	単純労務職員	小計(C)		
うち女性	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	(A)	(B)	(C)	
消防本部名																
福島市	7	1	5	26	86	58	64	69	62	371	9			9		356
大野市	3			1	7	20	8	10	9	55	1			1		55
勝山市	1			1	5	13	6	5	6	36	3			3		42
永平寺町	1			1	6	13	5	7	8	40				0		45
嶺北消防組合	10	1	3	6	42	41	45	33	30	201	3			3		206
鯖江・丹生消防組合	6		1	10	33	21	19	17	23	124	1			1		120
南越消防組合	5		1	11	38	33	24	21	21	149	7			7		157
敦賀美方消防組合	3		1	13	24	27	27	30	30	152	1			1		156
若狭消防組合	1		1	7	30	17	20	28	21	124	1			1		130
計	1,278	2	12	76	271	243	218	220	210	1,252	26	0	0	26	0	1,267

注1: 下段の()は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和4年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	992 (48)	1 ()	8 ()	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	670 (35)	1,055
大野市	440 (95)	1 ()	2 ()	10 (1)	11 (2)	35 (3)	70 (6)	311 (83)	485
勝山市	291 (23)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	205 (20)	299
永平寺町	345 (29)	1 ()	2 ()	11 (1)	11 (1)		34 (1)	286 (26)	412
嶺北消防組合	706 (22)	2 ()	8 ()	33 ()	52 ()	2 (2)	63 (2)	546 (18)	773
鯖江・丹生消防組合	577 (21)	2 ()	5 ()	34 ()	34 ()		81 (1)	421 (20)	647
南越消防組合	806 (51)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2)		83 (5)	647 (42)	826
敦賀美方消防組合	738 (36)	3 ()	4 ()	16 ()	16 ()	53 (1)	87 (3)	559 (32)	769
若狭消防組合	963 (31)	4 ()	6 ()	33 ()	23 ()	54 (1)	94 (1)	749 (29)	970
計	5,858 (356)	18 (0)	46 (0)	235 (6)	245 (7)	271 (12)	649 (26)	4,394 (305)	6,236

注：下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和4年4月1日現在

年齢別 消防本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員										平均年齢 (D) (C)					
	吏員数 (A)	(A)のうち								年齢合計 (B)	平均年齢 (B) (A)	団員数 (C)	(C)のうち									年齢合計 (D)				
		18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳				55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 以上	18歳 ～ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳			40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳
福井市	371	10	47	51	44	32	24	58	38	67	14,790	39.9	992	1	5	33	49	111	147	202	161	136	122	25	47,729	48.1
大野市	56	1	6	7	10	3	6	10	5	8	2,161	38.6	440	0	2	15	32	46	67	79	84	62	42	11	20,916	47.5
勝山市	36	1	3	2	5	4	4	8	6	3	1,463	40.6	291	0	3	6	19	40	49	59	37	40	32	6	13,783	47.4
永平寺町	40	1	6	4	6	2	6	9	4	2	1,529	38.2	345	0	14	15	17	26	59	51	34	24	16	89	17,006	49.3
嶺北消防組合	201	2	24	29	28	25	15	41	24	13	7,729	38.5	706	1	5	14	48	81	125	156	139	79	39	19	33,043	46.8
鯖江・丹生消防組合	124	3	22	13	15	12	16	23	11	9	4,680	37.7	577	0	3	40	57	104	127	121	81	26	14	4	24,706	42.8
南越消防組合	148	5	18	22	22	10	11	30	17	13	5,686	38.4	806	0	3	30	63	82	127	166	152	108	54	21	37,949	47.1
敦賀美方消防組合	151	6	16	18	24	28	24	24	7	4	5,509	36.5	738	0	34	49	128	172	141	91	53	31	32	7	29,657	40.2
若狭消防組合	124	4	16	20	21	14	13	17	8	11	4,569	36.8	963	0	16	94	152	218	199	131	79	41	27	6	38,899	40.4
計	1,251	33	158	166	175	130	119	220	120	130	48,116	38.5	5,858	2	85	296	565	880	1,041	1,056	820	547	378	188	263,688	45.0

注: 18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和4年4月1日現在

年数別 消防本部名	消 防 吏 員								消 防 団 員							
	消				防				常 勤				非 常 勤			
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 以 上	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	371	65	61	45	21	32	45	102	992	196	224	195	131	106	70	70
大 野 市	55	6	10	9	4	3	10	13	440	61	129	78	52	41	40	39
勝 山 市	36	4	5	4	3	5	9	6	291	57	42	51	48	46	26	21
永 平 寺 町	40	8	7	4	1	5	8	7	345	151	72	57	28	21	13	3
嶺 北 消 防 組 合	201	32	35	38	15	11	41	29	706	101	145	141	110	104	59	46
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	124	26	14	20	8	13	22	21	577	95	144	135	86	76	30	11
南 越 消 防 組 合	149	28	26	19	7	17	27	25	806	143	198	125	122	89	69	60
敦 賀 美 方 消 防 組 合	152	21	27	32	19	10	30	13	738	232	215	147	82	24	21	17
若 狭 消 防 組 合	124	17	26	22	11	10	11	27	963	412	231	164	88	48	17	3
計	1,252	207	211	193	89	106	203	243	5,858	1,448	1,400	1,093	747	555	345	270

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和4年4月1日現在

区分	消防本部・署現有														その他車両										
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)			消防折はしご自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積載車 <small>小型動力ポンプ付</small>	積載車 <small>小型動力ポンプ付</small>	広報車		資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車		
消防本部名																									
福井市消防局	17	3	2	1	1	1	1	1	3	5			7	6	4		1	1	1		11 (11)	2		8	
大野市消防本部	4					1			1	1					3	1					4 (4)	1		1	
勝山市消防本部	3	1								1				1	1						3 (3)	1		2	
永平寺町消防本部		3								1		2		1	1						3 (3)	1			
嶺北消防組合	6	4					1		4	5			7	1	5		1				8 (8)	3		9	
鯖江・丹生消防組合	5	1							2	2				7	2		1		2		7 (7)	1		1	
南越消防組合	7	4	1						2	3			1	7	5		1		1		8 (8)	3			
敦賀美方消防組合	3	4	1						2	1			6	3	5		1				6 (6)	2		9	
若狭消防組合	6	3							1	1			6	5	2				1		7 (7)	1		1	
計	51	23	4	1	4	2	2	1	15	20	0	0	29	30	28	0	4	4	5	1	57 (57)	15		31	

注:救急自動車の()は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和4年4月1日現在

種別 消防本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	41
大野市	10		21	
勝山市	2		11	
永平寺町	10		10	
嶺北消防組合	36		6	
鯖江・丹生消防組合	34		3	3
南越消防組合	11		26	
敦賀美方消防組合	23		31	5
若狭消防組合	9		39	49
計	136	0	199	98

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和4年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別									
	(A)	(B)	たん白系		合成界面活性剤	水成膜泡消火薬剤	水溶性液体用泡消火薬剤 (耐アルコール用)	第1種粉末	第2種粉末	第3種粉末	第4種粉末	
	(kg) (ア)～(オ)	(kg) (カ)～(ケ)	3%型 (ク) (イ)	6%型 (kl) (イ)	(kl) (ウ)	(kl) (エ)	(kl) (オ)	(kg) (カ)	(kg) (キ)	(kg) (ク)	(kg) (ケ)	
消防本部名												
福井市	14.89	0.00	10.40	0.09	1.63	2.43	0.34					
大野市	1.77	0.00			0.58	1.19						
勝山市	0.78	0.00			0.78							
永平寺町	0.50	0.00			0.50							
嶺北消防組合	27.67	0.00	5.06		3.26	19.35						
鯖江・丹生消防組合	4.58	0.00			2.56	2.02						
南越消防組合	1.91	0.00			0.44	1.47						
敦賀美方消防組合	1.75	0.00	0.20		1.01	0.54						
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34							
計	55.19	0.00	15.66	0.09	12.10	27.00	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	

第12表 消防機関の出動状況

令和3年中

区分	種別	県計	火災	風水害等の災害	演習訓練	広報指導	警防調査	火原因調査	特別警戒	捜索	予防	誤報等	その他
		(ア)~(サ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(サ)
消防本部・署所	出動回数	21,023	150	31	3,346	2,048	6,982	225	1,447	17	4,768	115	1,894
	出動延人数	68,921	2,745	148	15,855	5,157	19,504	944	4,373	159	13,053	1,334	5,649
消防団	出動回数	3,319	142	16	901	182	5	0	349	1	0	28	1,695
	出動延人数	25,944	1,676	463	11,710	2,231	175	0	3,105	2	0	191	6,391

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和3年中

区分	種別	県計	火災	風水害等の災害	救急業務	演習訓練	特別警戒	捜索	その他
		(ア)~(キ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	6	4	0	1	0	0	0	1
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	3	2	0	0	0	0	0	1

第14表 火災通報施設等の現況

令和4年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望 楼		電 話					救急指令装置	
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体 制をと っている もの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (オ)+(カ)+(キ) (回線) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救 急 指 令 専 用	消 防 指 令 装 置 と 併 用
		公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)						火災報知 専用電話 (オ) (回線)	消防電話 回線 (カ) (回線)			
消防本部名													
福井市	0			0			297	18	219	160	60		1
大野市	0		1	0			32	9	2	5	21		
勝山市	0			0			11	8			3		
永平寺町	0			0			8	8			0		1
嶺北消防組合	0			0			37	2			35		
鯖江・丹生消防組合	0			0			58	13	5	443	40	1	1
南越消防組合	0			0			55	12	2	6	41		
敦賀美方消防組合	0			0			47	13	9	259	25		
若狭消防組合	0			0		1	48	8	8		32		
計	0	0	0	0	0	0	593	91	245	873	257	1	3

第15表 無線通信施設等の現況

令和4年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線（デジタル方式）											携帯電話等				
	固定局			基地局および携帯基地局						移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時優先電話	
	局数		局「その他」の電波の数	局数		電波の数				陸上移動局数	携帯局数					
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波							
消防本部名																
福井市	6			9		3	1	5		171			1	11	11	
大野市				3		3	1	2		37			2	4	3	
勝山市		12	12	3		3	1	2		42			1	2	2	
永平寺町				3		3	1	2		27			1	3	3	
嶺北消防組合				4		3	1	3		131			1	9	4	
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254			3	6	6	
南越消防組合				7		3	1	3		155			5	8	8	
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		137			3	6	5	
若狭消防組合				6		3	1	2	1	136			1	6	6	
計	6	12	12	48	0	27	9	23	1	1,090	0	0	18	55	48	

第16表 幼年消防クラブの現況

令和4年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数				
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防本部名															
福井市	2	2					32	32				2	2		
大野市	14	14					995	995				14	14		
勝山市	12	12					412	412				51	51		
永平寺町	10	10					569	569				49	49		
嶺北消防組合	45	45					3,974	3,974				45	45		
鯖江・丹生消防組合	38	38					1,446	1,446				128	128		
南越消防組合	35	35					777	777				35	35		
敦賀美方消防組合	36	36					2,505	2,505				36	36		
若狭消防組合	1	1					24	24				4	4		
計	193	193	0	0	0	0	10,734	10,734	0	0	0	364	364	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和4年4月1日現在

種別	組織別クラブ数				組織別クラブ員数				指導者数				
	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	計	学校単位		計	小学校	中学校	その他
		小学校	中学校					小学校	中学校				
消防本部名													
福井市	50	50					2,376	2,376		81	81		
大野市	14	9	5			408	408	125		13	9	4	
勝山市	16	3		4	9	321	321		59	50	9		41
永平寺町	10				10					47			47
嶺北消防組合	26	26				952	952			26	26		
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,568	2,568			107	107		
南越消防組合	21	21				800	800			21	21		
敦賀美方消防組合	10	10				510	510			10	10		
若狭消防組合	0					0				0			
計	167	139	5	4	19	8,708	7,935	125	0	355	263	4	88

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和4年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数			
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消防活動 を行う (a)	消火活動は 行わないが、 炊き出し、連 絡、救護等 を行う (b)	(a)(b)は行 わず、予防の 啓蒙活動を 行っている (c)	
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)				組織数 (エ)
消防本部名												
福井市	38	1,498	17	510	18	521	3	467	7		31	
大野市	1	31			1	31			1			
勝山市	7	61	2	30	5	31			7			
永平寺町	1	17	1	17							1	
嶺北消防組合	2	487	2	487							2	
鯖江・丹生消防組合	21	1,032	7	154	11	396	3	482	11		10	
南越消防組合	15	179	11	116	4	63				15		
敦賀美方消防組合	7	1,399	2	1,353	2	28	3	18	5	2		
若狭消防組合	12	182			7	127	5	55	12			
計	104	4,886	42	2,667	48	1,197	14	1,022	43	17	44	

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		平24	25	26	27	28	29	30	令元	2	3	
叙 勲		21	22	23	21	22	23	21	23	21	20	
藍 綬 褒 章			3	3	2				3	1	1	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	2	2	1	1	1				1	
	永年勤続功労章	21	21	21	22	22	23	23	23	24	23	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬		1	1	1							
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1	1	1	1					1
		事 業 所				1			1	4		1
	少 年 消 防 ク ラ ブ	表 彰 旗		1								
		表 彰 楯	1		1	1	1	1	1	1	1	1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	40	39	40
永年勤続精績章		152	154	177	132	168	149	154	137	120	155	
銀 杯		67	71	73	49	55	67	58	68	47	54	
感謝状		退 職 幹 部	22	33	16	49	23	20	17	19	20	25
		人 命 救 助 そ の 他										
		夫 人 表 彰	28	26	33	33	31	26	47	44	36	49
竿 頭 綬			35	46	46	47	49	52	45	49	54	
特 別 功 勞 章												

第 7 章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡
 イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積…………… 40,759.02㎡ ・ 建物延面積…………… 8,001.62㎡

名 称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体 育 館	鉄骨造 2階 建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	S R C 造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄 骨 造 地 上 7 m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用)	機械室・便所(34.43㎡)
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋 (可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設 (25m×60m)
屋外訓練場		7,800㎡ (120m×65m)	1周200mグラウンド

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

第1表 令和3年度 消防本部別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	延時間	消防本部							合計			
					福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鱒江丹生		嶺北	永平寺	その他
消防職員	初任教育(第56期)	初級幹部科(第44期)	R3.4.5~9.28	821	13	4	4	4	1	1	7	3	3	39	
			R3.11.29~12.10	70	2	2	2	1	1	2	2	14			
	幹部教育	中級幹部科(第15期)	隔年実施のため実施なし												
			R3.6.16~6.18	21	2	2	1	2	1	1	2	12			
	専科教育	特殊災害科(第10期)	隔年実施のため実施なし												
			R3.11.11~11.19	49	2	2	2	2	1	1	2	2	14		
	予防査察科(第17期)	危険物科	隔年実施のため実施なし												
			R4.2.2~2.16	70	4	2	2	1	1	2	1	14			
	火災調査科(第24期)	救助科(第45期)	R4.1.6~1.20	70	4	2	2	2	1	1	3	2	2	17	
			R3.10.5~11.5	161	2	2	2	2	1	1	4	4	4	18	
救急科(第29期)	水難救助科(第25期)	R4.1.26~3.18	252	4	4	4	5	1	1	5	10	1	35		
		R3.8.19~9.3	84	2	2	2	2	2	2	4	4	14			
特別講座等	操法指導員教育	(下記公開講座に記載)													
		R3.4.15~4.16	14	5	4	4	4	4	2	4	4	3	34		
起震車操作員教育(新規養成)	小計	R3.5.25	3	4	4	2	2	2	1	2	5	4	24		
		232	1,615	44	30	27	28	13	11	37	38	6	235		
消防団員	初級幹部科	指揮幹部科	R3.11.6~11.7	12	3	3	2	2	3	2	4	2	2	23	
			現場指揮課程		R3.11.13~11.14	14	2	3	3	3	3	2	3	1	23
	分団指揮課程	消防団員指導員教育(日消)	R3.12.4~12.5	10	3	3	3	2	2	2	3	3	2	23	
			R3.10.30~10.31	12	1	2	3	4	1	1	2	2	1	17	
	小計	自衛消防隊幹部教育	R3.10.30~10.31	48	9	11	11	11	9	7	12	10	6	86	
			中止												
	一般・その他	女性防火クラブ員教育	中止												
			自主防災組織職員教育(第1回)												
	自主防災組織職員教育(第2回)嶺南	自主防災組織職員教育(第3回)	中止												
			中止												
小計	合計	240		1,663	53	41	38	39	22	18	49	48	12	321	
		上級幹部科		R3.6.17	4	3	3	4	4	2	2	6	4	4	28
公開講座	救助科	R3.10.21		4	3	4	11	3	2	1	2	4	1	31	
		火災調査科		R4.1.13	4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	17
公開講座	救急科	R4.3.2		3	4	3	3	2	2	3	3	1	1	20	
		合計		4	15	13	13	21	7	8	8	11	11	4	96
総計	合計	244	1,678	66	54	59	46	30	26	60	59	16	1	417	

第2表 令和3年度 消防学校教育訓練実施状況

区分	教育訓練の種類	項目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数			
						学校	県	消防	専門
消防職員	初任教育(第56期)		39	118	821	534	35	203	49
	幹部教育	初級幹部科(第44期)	14	10	70	10	11	17	32
		中級幹部科							
		上級幹部科(第15期)	12	3	21	2	1	10	8
	専科教育	警防科							
		特殊災害科(第10期)	14	7	49	6	9		34
		予防査察科(第17期)	14	10	70	10	4	53	3
		危険物科							
		火災調査科(第24期)	17	10	70	11	10	37	12
		救助科(第45期)	18	23	161	16	8	109	28
	特別教育	救急科(第29期)	35	36	252	15	6	61	170
		水難救助科(第25期)	14	12	84	8		76	
		操法指導員教育	34	2	14	2		12	
		起震車操作員教育(新規養成)	24	1	3	3			
小 計			235	232	1,615	617	84	578	336
消防団員	初級幹部科		23	2	12	5			7
	指揮幹部科								
	現場指揮課程		23	2	14	1		13	
	分団指揮課程		23	2	10	4	2		4
	消防団指導員教育(日消)		17	2	12	11	1		
小 計			86	8	48	21	3	13	11
その他	自衛消防隊幹部教育(中止)								
	女性防火クラブ員教育(中止)								
	自主防災組織員教育(中止)								
小 計									
合 計			321	240	1,663	638	87	591	347
公開講座	上級幹部科		28	1	4				4
	救助科		31	1	4				4
	火災調査科		17	1	4				4
	救急科		20	1	3				3
	公開講座合計			96	4	15			15
総 合 計			417	244	1,678	638	87	591	362

第3表 令和3年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科 (第67期)	2	消防学校
警 防 科 (第108期)	1	敦賀美方消防
	1	若狭消防
救 助 科 (第82期)	1	福井市消防局
	1	嶺北消防
救 急 科 (第83期)	1	鯖江・丹生消防
	1	嶺北消防
火 災 調 査 科 (第40期)	1	敦賀美方消防
新 任 教 官 科 (第15期)	1	消防学校
現 任 教 官 科 (第5期)	1	消防学校
航 空 隊 長 コ ー ス (第21回)	1	防災航空事務所
危 機 管 理 ・ 国 民 保 護 コ ー ス (第11回)	1	福井市
自 主 防 災 組 織 育 成 コ ー ス (第17回)	1	消防学校
合 計	11	

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 令和3年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者8人、重傷者18人、軽傷者86人

(2) 住家被害

全壊2棟、半壊2棟、一部破損192棟、床上浸水18棟、床下浸水61棟

第1表 令和3年中の災害発生状況

発生年月日		災害名		大雪	大雪	大雪	大雪	大雪/雪崩	融雪	融雪	大雨	大雨	大雨	台風9号	大雨	大雪	大雪	計	
区分				1月2日～6日	1月7日～26日	2月2日～3日	2月8日	2月15日～26日	3月2日	3月7日	7月6日～7日	7月15日	7月29日	8月9日	8月14日	12月18日～19日	12月26日～28日		
人的被害	死者	人		1	7													8	
	行方不明者	人																0	
	負傷者	重傷	人		1	16											1		18
		軽傷	人		4	73							1	1		4	3		86
住家被害	全壊	棟			2													2	
	半壊	棟			1								1					2	
	一部破損	棟			146	4	2	40										192	
	床上浸水	棟			2								16					18	
	床下浸水	棟			14								47					61	
非住家	公共建物	棟																0	
	その他	棟			12								1					13	
その他	田	流失・埋没	ha										408					408	
		冠水	ha										47					47	
	畑	流失・埋没	ha															0	
		冠水	ha															0	
	学校	箇所											2					2	
	病院	箇所																0	
	道路	箇所						1	1				71		1			74	
	橋りょう	箇所																0	
河川	箇所								1	1	1	41		5			49		
発生年月日		災害名		大雪	大雪	大雪	大雪	大雪/雪崩	融雪	融雪	大雨	大雨	大雨	台風9号	大雨	大雪	大雪	計	
区分				1月2日～6日	1月7日～26日	2月2日～3日	2月8日	2月15日～26日	3月2日	3月7日	7月6日～7日	7月15日	7月29日	8月9日	8月14日	12月18日～19日	12月26日～28日		
その他	港湾	箇所																0	
	砂防	箇所											25		4			29	
	清掃施設	箇所																0	
	崖くずれ	箇所																0	
	鉄道不通	箇所																0	
	被害船舶	隻																0	
	水道	戸											170					170	
	電話	回線																0	
電気	戸																0		
火災発生	ガス	戸																0	
	建物	件																0	
	危険物	件																0	
その他	件																0		
り	災世帯数	世帯			5								17					22	
り	災者数	人			5								33					38	
公立文教施設	千円																	0	
農林水産業施設	千円												94,219					94,219	
公共土木施設	千円							49,505	386,498	153,048	10,640	20,643	1,055,177		145,906			1,821,417	
その他の公共施設	千円																	0	
公共施設被害市町村数	団体							1	1	1	1	1	3		3			11	
その他被害	千円												4,362					4,362	
被害総額	千円							49,505	386,498	153,048	10,640	20,643	1,153,758		145,906			1,919,998	
都道府県	設置				1月10日													/	
災害対策本部	解散				1月19日														
災害対策本部設置市町					5													5	
災害救助法適用市町					5													5	
消防職員出動延人数	人			18	348								29	3		15	13	426	
消防団員出動延人数	人												100					100	

2 過去5年間の災害発生状況（平成29年～令和3年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 8.7～8	台風5号	(1)住家被害 全壊 1棟 床下浸水 3棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 3箇所 (4)その他被害 河川 24箇所 (5)その他被害 港湾 2箇所 (6)その他被害 砂防 5箇所 (7)公共土木施設被害 393,080千円 (8)災害対策本部設置市町 小浜市	台風第5号は、四国の南を通り、7日15時半頃に暴風域を伴ったまま和歌山県北部に上陸した。上陸後は近畿地方を北東に進み8日には石川県白山市付近を通過した影響で、福井県では、7日から8日にかけて断続的に強い雨が降った。 8日は激しい雨を観測した所もあり、7日00時から8日24時にかけての総降水量は、奥越、嶺南を中心に200mmを超えた所があった。 (日最大1時間降水量(8日)) 美山 41.0mm 06時45分 小浜 35.0mm 00時55分 (7日～8日の期間降水量) 九頭竜 223.5mm、敦賀 207.5mm
2017 (平29) 8.12	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 道路 1箇所 (4)公共土木施設被害 20,496千円 (5)災害対策本部設置市町 高浜町	気圧の谷や湿った空気の影響で、嶺南では激しい雨を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(12日)) 大飯 45.5mm 04時14分
2017 (平29) 8.25	大雨	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 16,588千円 (5)災害対策本部設置市町 永平寺町	低気圧から伸びる前線が北陸地方を南下したため、雷を伴って激しい雨の降った所があった。 (日最大1時間降水量(25日)) 勝山 42.0mm 10時03分 大野 39.0mm 11時00分 福井 34.5mm 09時45分 春江 34.0mm 09時27分
2017 (平29) 9.18	台風18号	(1)住家被害 床下浸水 5棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 砂防 1箇所 (5)電気被害 31戸 (4)公共土木施設被害 275,419千円	台風第18号が、兵庫県明石市付近に上陸した後、17日夜遅くから18日未明にかけて福井県を通過した影響で、福井県では激しい雨の降った所があった。 また、台風が最も接近した17日夜遅くから風が強まり、18日未明に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(18日)) 越廼 43.5mm 00時12分 (日最大1時間降水量(17日)) 大飯 38.0mm 23時34分 三国 37.5mm 23時16分 九頭竜 35.0mm 23時25分 (17日～18日の期間降水量) 大飯 114.5mm、小浜 112.5mm (日最大風速(18日)) 敦賀 17.2m/s(北西)00時32分 小浜 16.8m/s(北西)00時49分 (日最大瞬間風速(18日)) 敦賀 26.2m/s(北西)00時24分 小浜 30.6m/s(北北西)00時40分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2017 (平29) 10.22～ 23	台風21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 4人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 609棟 床上浸水 5棟 床下浸水 57棟 (3)非住家被害 公共施設 9棟 その他 87棟 (4)その他被害 学校 20箇所 (5)その他被害 病院 1箇所 (6)その他被害 道路 127箇所 (7)その他被害 橋りょう 1箇所 (8)その他被害 河川 89箇所 (9)その他被害 港湾 4箇所 (10)その他被害 砂防 31箇所 (11)その他被害 清掃施設 2箇所 (12)その他被害 崖くずれ 4箇所 (13)その他被害 被害船舶 9隻 (14)電話被害 4回線 (15)電気被害 7,545戸 (16)公共文教施設被害 15,912千円 (17)農林水産業施設被害 479,172千円 (18)公共土木施設被害 4,124,326千円 (19)その他の公共施設被害 129,904千円 (20)その他被害 592,067千円 (21)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、越前市、永平寺町、越前町、高浜町、おおい町	台風第21号が、静岡県御前崎市付近に上陸した後、東海地方および関東地方を北東に進んだ影響で、福井県では激しい雨を観測した所があった。 台風が最も接近した22日夜遅くから23日未明にかけて、非常に強い風を観測した所があった。 (日最大1時間降水量(22日)) 大飯 38.0mm 22時33分 越廼 34.5mm 23時21分 (日最大1時間降水量(23日)) 大飯 31.0mm 00時01分 (22日～23日の期間水量) 大飯 304.0mm、小浜 279.0mm 今庄 253.0mm (日最大風速(23日)) 春江 23.1m/s(北)01時47分 今庄 22.5m/s(北)02時43分 小浜 20.3m/s(北)01時04分 (日最大瞬間風速(23日)) 春江 33.4m/s(北)01時44分 今庄 36.8m/s(北)02時37分 小浜 38.8m/s(北)02時07分
2018 (平30) 1.12～14	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 4人 軽傷 8人 (2)住家被害 一部損壊 1棟 (3)農産被害 24,314千円	1月中旬から2月中旬にかけて、強い寒気が周期的に入った。 特に、2月3日から8日は強い冬型の気圧配置が続いたため、嶺北を中心に記録的な大雪となった。 嶺北では5日夜遅くから6日昼前にかけて1時間に5cmを超える強い雪が断続的に降り、6日10時までの12時間で50cm前後の降雪量を観測した所があった。
2018 (平30) 1.24～29	大雪	(1)人的被害 重傷 6人 軽傷 1人 (2)その他 学校 1箇所	7日15時には福井市の積雪がこの期間の最深の147cmに達し、昭和56年の豪雪(196cm)以来の大雪となった。
2018 (平30) 2.5～22	大雪	(1)人的被害 死者 12人 重傷 26人 軽傷 94人 (2)住家被害 全壊 1棟 半壊 6棟 一部破損 542棟 床下浸水 7棟 (3)非住家被害 公共建物 6棟 その他 121棟	8日午後から10日は一時的に冬型の気圧配置は緩んだが、11日から13日前半にかけて再び冬型の気圧配置が強まり、嶺北中心に大雪となった。 (最深積雪(2017年12月～2018年2月)) 福井 147cm(2月7日) 武生 130cm(2月13日) 大野 177cm(2月13日)

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
		(4)その他 学校 26箇所 (5)その他 道路 1箇所 (6)その他 橋梁 1箇所 (7)公立文教施設被害 5,627千円 (8)農林水産業施設被害 205,417千円 (9)公共土木施設被害 309,201千円 (10)その他公共施設被害 35,588千円 (11)その他被害 1,027,460千円 (12)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、 鯖江市、あわら市、越前市、 坂井市、永平寺町	九頭竜 301cm (2月13日) 今庄 162cm (2月13日) 敦賀 57cm (2月8日) 小浜 48cm (2月8日) (大雪警報発表日) 1月11日、1月12日、1月13日、1月24日、 2月4日、2月5日、2月6日、2月7日、 2月8日、2月12日、2月13日
2018 (平30) 3.5	大雪	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟	
2018 (平30) 3.8	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 19,051千円	
2018 (平30) 3.22～23	融雪	(1)その他 道路 1棟 (2)公共土木施設被害 17,722千円	
2018 (平30) 7.4～12	大雨	(1)住家被害 一部破損 4棟 床上浸水 3棟 床下浸水 18棟 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)その他 学校 2箇所 (4)その他 道路 26箇所 (5)その他 河川 37箇所 (6)その他 港湾 15箇所 (7)その他 崖崩れ 2箇所 (8)電気被害 24戸 (9)公立文教施設被害 450千円 (10)農林水産業施設被害 101,733千円 (11)公共土木施設被害 2,638,337千円 (12)その他の公共施設被害 458千円 (13)その他被害 1,157千円 (14)災害対策本部設置市町 敦賀市、大野市、あわら市、 越前市、永平寺町、 南越前町、越前町、高浜町	4日は台風第7号が日本海を北東に進み、その後、8日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。 日本付近には暖かく湿った空気が供給され続けたため、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となった。 福井県では、多い所では4日から8日までの総降水量が400mmを超える大雨となった。 (4日から8日までの総降水量) 九頭竜 424.5mm、三国 417.0mm、越廼 330.0mm 三国、越廼、勝山、武生、今庄、美浜、大飯では7月の日降水量の極値を更新した。 (極値を更新したアメダス) 三国(7日:164mm)、越廼(7日:193mm)、勝山(5日:178mm)、武生(5日:183mm)、今庄(5日:161mm)、美浜(5日:131.5mm)、大飯(7日:151mm) 平成30年6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、気象庁は、この大雨の名称を「平成30年7月豪雨」と定めた。

年月日	種類	被害状況	気象状況
2018 (平30) 8.24	台風 20号	(1)人的被害 軽傷 3人 (2)住家被害 一部破損 24棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 1棟 (4)田 冠水 3.0ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 17箇所 (7)その他 鉄道不通 1箇所 (8)その他 被害船舶 3隻 (9)電気被害 20戸 (10)公立文教施設被害 1,296千円 (11)農林水産業施設被害 146千円 (12)公共土木施設被害 20,992千円 (13)その他の公共施設被害 715千円 (14)その他被害 1,100千円 (15)災害対策本部設置市町 小浜市、鯖江市	台風第20号は、23日は、四国の南海上を北上し、強い勢力で暴風域を伴ったまま23日21時頃に徳島県南部に上陸した。その後も暴風域を伴ったまま四国から近畿地方を北上し、24日2時に日本海に抜けた後、15時に秋田県沖で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(24日)) 福井 17.4m/s(南東) 00時49分 敦賀 21.3m/s(南南東)03時00分 (日最大瞬間風速(24日)) 福井 29.5m/s(南) 03時16分 敦賀 37.5m/s(南東)00時50分
2018 (平30) 9.4~5	台風 21号	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 6人 (2)住家被害 半壊 4棟 一部破損 115棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 8棟 (4)その他 学校 12箇所 (5)その他 道路 9箇所 (6)その他 河川 6箇所 (7)その他 砂防 1箇所 (8)その他 鉄道不通 1箇所 (9)その他 被害船舶 1隻 (10)電気被害 5,200戸 (11)公立文教施設被害 7,674千円 (12)農林水産業施設被害 10,142千円 (13)公共土木施設被害 76,052千円 (14)その他の公共施設被害 82,999千円 (15)その他被害 2,792千円 (16) 災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町	台風第21号は暴風域を伴い非常に強い勢力を維持して4日12時頃に徳島県南部に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま北北東に進み、14時頃に兵庫県神戸市付近に再上陸した。15時には若狭湾に達し、日本海を北上した後、5日9時に間宮海峡で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速(4日)) 福井 21.8m/s(南南東)15時59分 敦賀 26.3m/s(南南東)15時29分 (日最大瞬間風速(4日)) 福井 37.9m/s(南) 16時22分 敦賀 47.9m/s(東南東)15時00分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2018 (平30) 9.30 ~ 10.1	台風 24号	(1)住家被害 一部破損 3棟 (2)その他 砂防 1箇所 (3)その他 鉄道不通 1箇所 (4)電話被害 6回線 (5)公共土木施設被害 7,430千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、鯖江市、 永平寺町、南越前町、高浜町	台風第24号は、四国の南海上を北東に進み、非常に強い勢力を維持して30日20時頃に和歌山県田辺市付近に上陸した。 その後も暴風域を伴ったまま更に速度を速めて東海、関東甲信、東北地方を北東に進み、10月1日12時に日本の東海上で温帯低気圧に変わった。 (日最大風速) 福井 12.0m/s(北北西) 1日00時27分 敦賀 21.8m/s(北北西)30日23時49分 (日最大瞬間風速) 福井 23.7m/s(北) 1日00時08分 敦賀 30.8m/s(北北西)30日23時42分
2017 (平29) 12.25~ 2019 (平31) 1.4	地滑り	(1)公共土木施設被害 1,157,665千円	福井市蔵作町の主要地方道武生美山線において、12月25日に一次崩壊が発生し、12月29日から1月3日にかけて斜面が高さ85m、巾60m、深さ10mにわたる地すべりによって、約1万m ³ の土砂が道路を寸断した。 12月25日~29日まで片側交互通行を行っていたが、12月29日から平30年1月4日までは全面通行止め。迂回路の設置完了に伴い、1月4日から片側交互通行とし、付替道路の設置完了に伴い、令和3年7月7日から対面通行を開始した。
2019 (令元) 8.16	台風 10号	(1)農林水産業施設被害 9,488千円	台風第10号は、日本の南海上を北西に進み、次第に進路を北に変え、15日11時過ぎに愛媛県佐田岬半島付近を通過した後、15日15時頃に広島県呉市付近に上陸し、中国地方を縦断後に日本海を北上した。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 16日02時48分 (日降水量) 九頭竜 92.0mm 16日 (期間水量(15日~16日)) 九頭竜 138.0mm (日最大風速(15日)) 福井 14.8m/s(南南東)21時33分 敦賀 19.2m/s(南南東)19時07分 (日最大瞬間風速(15日)) 福井 23.9m/s(南東) 19時17分 敦賀 33.5m/s(南南東)19時03分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2019 (令元) 10.12～ 10.13	台風 19号	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共土木施設被害 37千円 (3)その他の公共施設被害 1,099千円 (4)その他被害 25,726千円	台風第19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時 大型で猛烈な台風が発達した後、次第に進路を北に変え、日本の南を北上し、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸した。その後、関東地方を通過し、13日12時に日本の東で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 小浜 13.5mm 12日13時25分 今庄 12.0mm 12日15時03分 (日降水量) 小浜 113.0mm 12日 今庄 100.0mm 12日 (期間水量(12日～13日)) 小浜 127.0mm 今庄 111.0mm (日最大風速(12日)) 福井 12.5m/s(北北西)20時41分 春江 18.7m/s(北) 21時01分 敦賀 20.0m/s(北西) 20時06分 (日最大瞬間風速(12日)) 福井 22.3m/s(北北西)23時48分 春江 27.8m/s(北北西)20時36分 敦賀 29.9m/s(北北西)19時22分
2020 (令2) 6.10～ 6.16	大雨	(1)農林水産業施設被害 5,023千円 (2)公共土木施設被害 115,294千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により14日を中心に激しい雨が降り大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 39.5mm 14日17時54分 春江 38.0mm 14日18時05分 福井 36.0mm 14日18時17分 敦賀 32.0mm 14日19時37分 小浜 31.5mm 13日07時49分 (日降水量) 春江 125.5mm 14日 越廼 111.0mm 14日 三国 108.5mm 14日 勝山 105.0mm 14日 福井 103.5mm 14日
2020 (令2) 6.27～ 6.28	大雨	(1)公共土木施設被害 43,407千円	梅雨前線の影響により28日は非常に激しい雨が降り、大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 50.0mm 28日 02時13分 福井 36.5mm 28日 02時40分 美山 36.0mm 28日 03時23分 (日降水量) 越廼 97.0mm 28日 福井 78.5mm 28日 美山 57.5mm 28日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2020 (令2) 7. 8	大雨	(1)住家被害 床下浸水 3棟	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 九頭竜 29.5mm 8日 03時42分 敦賀 26.5mm 8日 05時07分 今庄 19.5mm 8日 05時30分 (日降水量) 九頭竜 80.0mm 8日 敦賀 53.0mm 8日 今庄 53.0mm 8日
2020 (令2) 7.10～ 7.14	大雨	(1)公共土木施設被害 71,287千円	梅雨前線が日本付近に停滞した影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 三国 21.5mm 11日 05時16分 春江 19.5mm 11日 06時39分 美山 19.0mm 11日 05時47分 (日降水量) 九頭竜 68.5mm 13日 勝山 51.0mm 13日 春江 42.5mm 11日 今庄 42.5mm 13日
2020 (令2) 9. 4	地震	(1)人的被害 軽傷 13人	福井県嶺北を震源とする地震 9月4日 09時10分 M5.0 深さ7km 北緯 36度06.9分 東経 136度11.3分 震度5弱 坂井市 震度4 福井市、あわら市 震度3 鯖江市、永平寺町、越前町、越前市
2020 (令2) 12.19～ 12.20	大雪	(1)人的被害 軽傷 2人	12月14日～20日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により奥越では大雪となった。 (日降雪量最大値) 大野 24cm 12月16日 九頭竜 40cm 12月16日 (最深積雪) 大野 45cm 12月20日 九頭竜 77cm 12月18日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2020 (令2) 12.31~ 2021 (令3) 1.1	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月31日から1月1日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、上空には強い寒気が流れ込んだ影響により大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 10cm 12月31日 武生 10cm 1月1日 大野 21cm 1月1日 九頭竜 36cm 1月1日 今庄 27cm 12月31日 敦賀 18cm 12月31日 小浜 12cm 12月31日 (最深積雪) 福井 17cm 12月31日 武生 18cm 1月1日 大野 63cm 1月1日 九頭竜 98cm 1月1日 今庄 35cm 1月1日 敦賀 22cm 1月1日 小浜 11cm 12月31日
2021 (令3) 1.2~ 3.7	大雪	(1)人的被害 死者 8人 重傷 17人 軽傷 77人 (2)住家被害 全壊 2棟 半壊 1棟 一部破損 192棟 床上浸水 2棟 床下浸水 14棟 (3)非住家被害 その他 12棟 (4)その他 道路 2箇所 (5)その他 河川 1箇所 (6)公共土木施設被害 589,051千円 (7)災害対策本部設置市町 福井市、大野市、勝山市、坂井市、永平寺町	1月8日から1月9日にかけて、強い冬型の気圧配置となり、嶺北を中心に大雪となった。 (日最大降雪量) 福井 54cm 1月9日 武生 32cm 1月8日 大野 63cm 1月8日 九頭竜 52cm 2月17日 今庄 39cm 1月10日 敦賀 23cm 2月18日 小浜 4cm 1月29日、2月9日 (最深積雪) 福井 107cm 1月9日 武生 64cm 1月10日 大野 166cm 1月11日 九頭竜 187cm 1月10日 今庄 91cm 1月10日 敦賀 26cm 2月18日 小浜 4cm 1月2日、1月30日 2月9日
2021 (令3) 7.6~ 7.7	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 10,640千円	活発な梅雨前線の影響により大雨となった所があった。 (日最大1時間降水量) 越廼 36.0mm 7日05時52分 九頭竜 27.5mm 7日06時19分 大野 22.0mm 7日06時24分 (日降水量) 越廼 72.5mm 7日 九頭竜 56.0mm 7日 美山 45.5mm 7日 大飯 45.5mm 7日

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2021 (令3) 7.15	大雨	(1)その他 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 20,643千円	上空に流れ込んだ寒気の影響により、大気が不安定となった。 (日最大1時間降水量) 武生 18.0mm 15日16時11分 美浜 9.0mm 15日19時27分 大飯 6.5mm 15日15時14分 (日降水量) 武生 18.0mm 15日 美浜 9.0mm 15日 大飯 9.0mm 15日
2021 (令3) 7.29	大雨	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 1棟 床上浸水 16棟 床下浸水 47棟 (3)非住家被害 その他 1棟 (4)その他 田 流失・埋没 480ha 田 冠水 47ha (5)その他 学校 2箇所 (6)その他 道路 71箇所 (7)その他 河川 41箇所 (8)その他 砂防 25箇所 (9)その他 水道 170戸 (10)農林水産業施設被害 94,219千円 (11)公共土木施設被害 1,055,177千円 (12)その他被害 4,362千円	29日は、台風第8号から変わった日本海の低気圧に向かって、暖かく湿った空気が流入し、また、東日本上空約6000メートルの氷点下6度以下の寒気が北陸地方に流れ込んだ。このため、大気の状態が非常に不安定となり、福井県では嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 44.0mm 29日06時17分 越廼 34.0mm 29日08時12分 美山 25.5mm 29日01時51分 (日降水量) 福井 107.0mm 29日 越廼 91.5mm 29日 春江 60.0mm 29日
2021 (令3) 8.9	台風 9号	(1)人的被害 軽傷 1人	台風第9号は、8日午後8時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸し、9日5時過ぎに広島県呉市付近に再上陸した後、9日9時に中国地方で温帯低気圧に変わった。 (日最大1時間降水量) 美山 18.0mm 9日21時04分 小浜 15.5mm 9日5時18分 (日降水量) 武生 54.0mm 9日 美山 46.5mm 9日 (日最大風速(9日)) 三国 16.3m/s(南) 15時11分 福井 14.8m/s(南南西)18時20分 春江 14.4m/s(南) 17時20分 (日最大瞬間風速(9日)) 三国 30.2m/s(南) 18時16分 福井 27.2m/s(南南西)17時44分 春江 23.7m/s(南南西)18時23分 越廼 23.7m/s(南) 17時39分

年月日	種 類	被 害 状 況	気 象 状 況
2021 (令3) 8.14	大雨	(1)その他 道路 1箇所 (2)その他 河川 5箇所 (3)その他 砂防 4箇所 (4)公共土木施設被害 145,906千円	本州付近に停滞した活発な前線の影響により、大雨となった。 (日最大1時間降水量) 福井 31.0mm 14日 06時 47分 武生 28.0mm 14日 06時 53分 大飯 23.5mm 14日 06時 48分 (日降水量) 大飯 93.0mm 14日 武生 91.5mm 14日 小浜 86.5mm 14日
2021 (令3) 12.18~ 12.28	大雪	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 7人	上空に強い寒気が流れ込み、26日から27日にかけて断続的に雪が降った。 (日最大降雪量) 福井 14cm 12月 25日 武生 19cm 12月 26日、12月 27日 大野 28cm 12月 19日 九頭竜 36cm 12月 27日 今庄 28cm 12月 18日 敦賀 16cm 12月 27日 小浜 34cm 12月 26日 (最深積雪) 福井 33cm 12月 27日 武生 35cm 12月 27日 大野 46cm 12月 28日 九頭竜 57cm 12月 27日、12月 28日 今庄 41cm 12月 27日 敦賀 26cm 12月 27日 小浜 47cm 12月 27日

第2章 令和3年の天候概況

1 天候の特徴

◇ 年（1月～12月）の概況

1月前半は強い寒気が流れ込んだ影響で、曇りや雪または雨の日が多く大雪となったところもあった。2月は寒気の南下は一時的で、低気圧や高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。この冬は前半を中心に降水量が多かったため、全体の降水量はかなり多くなった。また、冬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多く、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、今冬の気温は平年並となり、日照時間は多くなった。

3月～4月は、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。4月は日照時間がかなり多くなったが、5月は低気圧や、本州付近に停滞した活発な前線の影響で、曇りや雨の日が多くなり、日照時間がかなり少なくなった。また、今春の前半は北からの寒気の流入が顕著に弱く、南からの暖かい空気に覆われやすかったため、3月では気温がかなり高くなった。

6月～7月は、梅雨前線の影響が小さく高温・多照。8月は低気圧や前線の影響で多雨・寡照。太平洋高気圧の張り出しが例年より弱かったため、6月は梅雨前線が日本の南海上に停滞しやすかった。7月中旬に梅雨前線は不明瞭となったため、高気圧に覆われやすく、6月～7月は晴れの日が多くなった。8月は日本の南海上では熱帯低気圧が発生しやすく、上旬の終わりから、台風から変わった低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。

9月～11月は、低気圧や前線の通過により、寒気の影響を受けやすい時期があったが、暖かな空気の流れ込みや高気圧の影響により晴れた日が多くなったため、日照時間はかなり多く、気温は高くなった。降水量は、11月は多くなったが季節としては平年並となった。

12月は、下旬に強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となったところもあった。

年平均気温の平年差は福井で+0.6℃で平年より高く、敦賀で+0.6℃で平年より高くなった。

年降水量の平年比は福井では124%で平年よりかなり多く、敦賀では112%で平年より多くなった。

年日照時間の平年比は福井では111%で平年よりかなり多く、敦賀では111%で平年よりかなり多くなった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.4	0.6	高い	2858.0	124	かなり 多い	1829.0	111	かなり 多い
敦賀	16.2	0.6	高い	2454.5	112	多い	1777.4	111	かなり 多い

※平年差（比）は、平年値（1991年～2020年の30年平均値）から求めている。

◇ 台風

台風の年間発生数は平年より少ない22個(平年値25.1個)となり、日本への接近数は12個(平年値11.4個)、上陸数は3個(平年値2.7個)。北陸地方への接近数は3個(平年値2.8個)となった。【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生		1		1	1	2	3	4	4	4	1	1	22	25.1
上陸 (注1)							1	1	1				3	3.0
北陸地方に 接近した台風							1	1	1				3	2.8

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指す。

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署等から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としている。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しない。

2 月別気象概況

◇ 2021年(令和3年)月別気象概況

1月

上・中旬は冬型の気圧配置や寒気の影響で気温が低くなり、雪や雨の日が多くなった。特に8日から9日にかけては冬型の気圧配置が強まったため、嶺北では大雪となった。

平均気温は、小浜で平年より高く、福井、大野、今庄、春江で平年より低く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大飯、小浜で平年よりかなり少なく、勝山で平年よりかなり多く、美浜で平年より少なく、敦賀で平年並となり、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、美浜、小浜で平年よりかなり多く、三国、敦賀で平年より多く、大野で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

2月

上、中旬は、冬型の気圧配置や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多くなったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。

平均気温は、勝山、大野、今庄、春江で平年より高く、その他の地点では平年よりかなり高くなった。

降水量は、小浜で平年より少なく、勝山、美山、敦賀、大野、九頭竜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、勝山、三国、越廼、今庄で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

3月

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。中旬は低気圧や前線の影響で大

雨となった日もあった。また、下旬には黄砂を観測した日もあった。

平均気温は、全ての地点で平年よりかなり高くなった。

降水量は、勝山、大野、春江で平年より少なく、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、三国、越廼、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなった。

4月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、中旬と下旬には低気圧や前線の影響で大雨となった日があった。

平均気温は、三国、勝山、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、福井、越廼、勝山、美山、春江、武生で平年並、小浜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

5月

低気圧や前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなった。特に中旬の後半から下旬のはじめにかけては、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んで大雨となった日があった。

平均気温は、すべての地点で平年並となった。

降水量は、福井、美山、勝山、武生、大野、九頭竜で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、勝山、大野、今庄、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

6月

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が続いたが、中旬から下旬にかけては上空の寒気や南からの暖かく湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、所々で雷を伴った大雨となった日もあった。

なお、北陸地方は13日ごろ梅雨入り（平年より2日遅く昨年より2日遅い）した。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、三国、春江、越廼、敦賀、美浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、小浜で平年並、勝山で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

7月

前半は、日本付近に停滞した梅雨前線の影響により、雨や曇りの日が多くなり、大雨となったところもあった。後半は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、下旬は上空の寒気の影響により、雨となった日もあり、特に29日は嶺北北部を中心に大雨となった。

なお、北陸地方は14日ごろに梅雨明けとなった。

平均気温は、三国で平年よりかなり高く、春江、越廼、勝山、大野で平年並、その他の地点では平年より高くなった。

降水量は、福井、越廼、美山、勝山、大野、九頭竜で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より多くなった。

8月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や低気圧等の影響により、全般に雨や曇りの日が多くなった。特に上旬の終わりから中旬にかけては、台風第9号から変わった低気圧や日本付近に停滞した前線の影響により嶺北を中心に大雨となった日もあった。

平均気温は、三国、勝山、美浜、小浜で平年並、その他の地点では平年より低くなった。

降水量は、春江、福井、美山、勝山、大野、武生、今庄で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、越廼、勝山、今庄、小浜で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなった。

9月

高気圧に覆われ晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響により、雨や曇りの日が多くなり、1日から2日にかけては大雨となったところがあった。

平均気温は、変動が大きくなったが、すべての地点で平年並となった。

降水量は、三国、福井、越廼、美山、勝山、大野、九頭竜で平年並、その他の地点では平年より少なくなった。

日照時間は、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となった。

10月

低気圧や前線および気圧の谷の影響で曇りや雨となった日もあったが、全般には高気圧に覆われ晴れた日が多くなった。

平均気温は、敦賀、美浜で平年よりかなり高く、その他の地点では平年より高くなったが、月の後半は寒気の影響で気温の変動が大きくなった。

降水量は、大飯で平年並、美浜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

11月

高気圧に覆われ晴れた日が多くなったが、低気圧や前線および寒気の影響で曇りや雨となった日もあり、嶺北を中心に大雨となった日があった。また、下旬は嶺北山地を中心に積雪となったところがあった。

平均気温は、三国で平年より高く、その他の地点では平年並となった。

降水量は、大飯で平年よりかなり少なく、越廼、武生で平年よりかなり多く、三国、春江、福井、今庄、敦賀で平年より多く、その他の地点では平年並となった。

日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなった。

12月

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨や曇りの日が多く、後半は強い寒気の影響により雪やみぞれで雷を伴った日があった。また、26日から27日にかけては大雪となった。

平均気温は、すべての地点で平年並となった。

降水量は、春江、越廼、今庄で平年並、大野、小浜、大飯で平年よりかなり多く、その他の地点では平年より多くなった。

日照時間は、すべての地点で平年並となった。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

令和3年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を行い、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図ることを目的に実施した。

2 日時、場所

令和3年11月13日（土）7時30分～12時00分

- 主訓練会場 日野川河川敷（鯖江市熊田町）
- サテライト会場 立待公民館（鯖江市杉本町）
吉川小学校（鯖江市大倉町）
豊公民館（鯖江市下野田町） など

3 主催

福井県、鯖江市

4 想定

県内で新型コロナウイルス感染症が発生する中、鯖江市で土砂災害警戒情報の発表後、嶺北南部にて震度6弱の地震が発生

5 参加機関 100機関（約1050人）

（1）国の行政機関

東京管区气象台福井地方气象台、総務省北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所

（2）自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第372施設中隊

（3）警察関係

福井県警察本部、鯖江警察署

(4) 消防関係

福井県消防長会、福井市消防局、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀・美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、(公財)福井県消防協会、鯖江市女性防犯隊、鯖江市消防団機能別分隊

(5) 医療関係

(一社)福井県医師会、(公社)福井県看護協会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、赤十字飛行隊福井支隊、鯖江市赤十字奉仕団、福井県立病院、福井県済生会病院、福井大学医学部付属病院、勝山総合病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井県歯科医師会

(6) 交通運輸関係

福井県倉庫協会、(一社)福井県トラック協会、中日本高速道路(株)金沢支社、(株)二ホンパッケージ、福井県タクシー協会

(7) ライフライン関係

北陸電力(株)福井支店、北陸電力送配電(株)福井支社、(一財)北陸電気保安協会福井支店、(一社)福井県LPガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、福井県管工業協同組合

(8) 各種団体

福井県防災士会、防災士ネットワークさばえ、立待防災協議会、吉川地区防災協議会、豊地区安全防災委員会、社会福祉法人鯖江市社会福祉協議会、鯖江王山ライオンズクラブ、日産プリンス福井販売(株)、福井日産自動車(株)、(株)福井銀行、西日本電信電話(株)、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、(株)NTTドコモ北陸支社、北陸コカ・コーラボトリング(株)、KOSEI(株)、尾西食品(株)、柴田商事(株)、トレーラースタイル福井店、(株)ダイキョウコーポレーション、(株)G&ECO、(株)スカイオーイング、(株)三和電工社

(9) 地元地区関係

鯖江市

6 主な訓練項目

(1) 実働機関による実践的な訓練

- ・ヘリ、ドローンによる被害状況確認
- ・土砂災害救出救助
- ・ドクターヘリによる傷病者搬送

(2) 避難所運営訓練

- ・LINE等のSNSを活用した避難所受付
- ・要支援者、外国人避難者対応訓練
- ・DWA Tと鯖江市による福祉トリアージ訓練

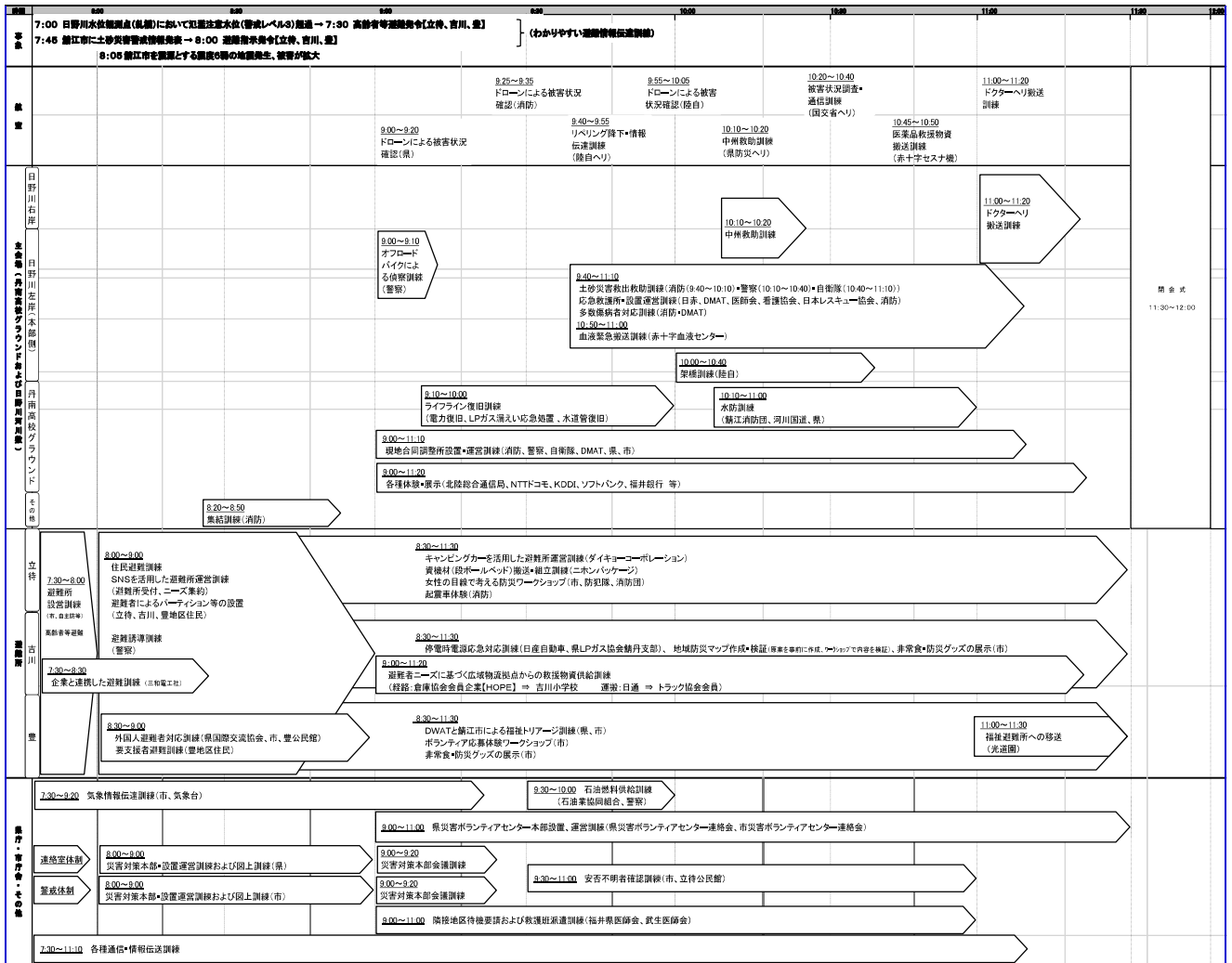
(3) 住民避難訓練・支援訓練

- ・鯖江市民 約250名が住民避難訓練に参加
- ・避難者によるパーティション等の設置
- ・福祉避難所への移動

(4) ライフライン復旧訓練

- ・停電時の電力復旧対応
- ・地震による断水の復旧対応
- ・LPガス漏洩応急処置

<訓練項目図>



令和3年度 福井県原子力総合防災訓練 実施結果 (美浜地域における3県・内閣府合同原子力防災訓練)

1 目 的

福井県地域防災計画（原子力災害対策編）および美浜地域の緊急時対応に基づき、国、関係県、関係市町、防災関係機関および地域住民が一体となった原子力総合防災訓練を実施し、国、地方公共団体、原子力事業者、関係機関における初動対応の確立、防災体制の確認、住民避難体制や緊急時医療措置等の災害対策の習熟、原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進を図ることを目的とする。

2 実施時期

令和3年10月29日（金） 8：30～15：30
10月30日（土） 8：00～15：00

3 対象発電所 関西電力株式会社 美浜発電所

4 場所

美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町等の訓練実施市町

5 訓練参加数

（機 関）

約100機関 約1,800人

（住 民）

避難訓練参加住民 約 320人

屋内退避参加住民 約4,700人

6 参加・協力機関（順不同）

（1）指定行政機関

内閣府、原子力規制委員会 等

（2）指定地方行政機関

気象庁福井地方气象台、近畿地方整備局福井河川国道事務所、海上保安庁第八管区海上保安本部、舞鶴海上保安部、敦賀海上保安部、小浜海上保安署、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第10師団司令部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、海上自衛隊舞鶴警備隊、航空自衛隊第6航空団、自衛隊福井地方協力本部 等

（3）指定公共機関

日本原子力研究開発機構 等

(4) 自治体関係

福井県、滋賀県、岐阜県、兵庫県、奈良県、関西広域連合、福井県美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町、あわら市、おおい町、高浜町、兵庫県朝来市、兵庫県多可町、奈良県生駒市 等

(5) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署、小浜警察署 等

(6) 消防関係

敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部、福井市消防局、敦賀美方消防組合美浜消防団、敦賀美方消防組合敦賀消防団、敦賀美方消防組合三方消防団、若狭消防組合小浜消防団、若狭消防組合上中消防団等

(7) 学校関係

福井県教育委員会、美浜町教育委員会、敦賀市教育委員会、小浜市教育委員会、若狭町教育委員会、南越前町教育委員会、越前市教育委員会、越前町教育委員会 等

(8) 医療機関関係

(一社)福井県医師会、(一社)福井県薬剤師会、(公社)福井県診療放射線技師会、福井赤十字病院、福井県立病院、福井大学医学部附属病院、福井県済生会病院、国立病院機構あわら病院、坂井市立三国病院、地域医療機能推進機構福井勝山総合病院、越前町国民健康保険織田病院、公立丹南病院、市立敦賀病院、国立病院機構敦賀医療センター、レイクヒルズ美方病院、杉田玄白記念公立小浜病院、地域医療推進機構若狭高浜病院、広島大学 等

(9) 福祉関係

美浜町社会福祉協議会、敦賀市社会福祉協議会、(福)福井ゆうあい会 やはず苑、今庄老人保健施設、(福)光道園 ライトホープセンター、(福)友愛会 楊梅苑、(福)ふくい福祉事業団 若越ひかりの村 等

(10) 交通運輸関係

(公社)福井県バス協会、(一社)福井県トラック協会、中日本高速道路㈱金沢支社、その他バス事業者 等

(11) 漁業関係

福井県無線漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会、敦賀市漁業協同組合、美浜町漁業協同組合、若狭三方漁業協同組合、大島漁業協同組合、若狭高浜漁業協同組合、河野村漁業協同組合、小浜市漁業協同組合、雄島漁業協同組合、三国港漁業協同組合、三国港機船底曳網漁業協同組合、福井市漁業協同組合、越廼漁業協同組合、越前町漁業協同組合 等

(12) その他

(株)NTTドコモ北陸支社、北陸地方非常通信協議会、あわら温泉美松、(株)バロー 等

(13) 原子力事業者関係

関西電力(株)、日本原子力発電(株)、日本原子力研究開発機構、関電プラント(株) 等

7 訓練想定

美浜発電所3号機において、若狭湾を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

8 住民参加 5,024人

【PAZ】 58人

区分	避難元市町		避難先		実績
要配慮者	美浜町	在宅要支援者	おおい町	いきいき長寿村	6
一般住民	美浜町		おおい町	大飯中学校	48
	敦賀市		敦賀市	敦賀市立体育館	4
合計					58

【UPZ】 266人

区分	避難元市町・施設名		避難先		実績
一般住民	美浜町		おおい町	名田庄体育館	93
			高浜町	中央体育館	19
	敦賀市		敦賀市	敦賀市立体育館（安定ヨウ素剤配布まで）	44
	若狭町		おおい町	うみんびあ大飯（スクリーニングまで）	29
	小浜市		おおい町	うみんびあ大飯（スクリーニングまで）	24
	越前市		あわら市	トリムパークかなづ	17
				芦原温泉美松	20
社会福祉施設等	美浜町	やはず苑	おおい町	楊梅苑	5
	越前町	ライトハウスセンター	福井市	若越ひかりの村	12
	南越前町	今庄老人保健施設	南越前町	今庄診療所	3
合計					266

PAZ・UPZ総計	324
-----------	-----

屋内退避	4,700
------	-------

参加住民	5,024
------	-------

9 訓練項目

(1) 住民避難訓練

- ア 避難先施設への避難
324人（PAZ：58人、UPZ：266人）
- イ 自衛隊車両、民間バス、自家用車による住民等の陸路からの避難
陸上自衛隊高機動車3台、県バス協会バス26台、自家用車23台
- ウ 自衛隊、海上保安庁等のヘリコプターおよび船舶による住民等の空路、海路からの避難
[空路] 陸上自衛隊ヘリ 1機、海上自衛隊ヘリ 1機
[海路] 海上自衛隊船舶 1隻、海上保安庁船舶 1隻
- エ 避難車両中継所における自衛隊車両等から民間バスへの乗継
- オ 消防団等による自家用車避難済み住民等の確認
- カ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(2) 避難所開設運営訓練

- ア 避難所の設置運営
- イ 避難者受入マニュアルに基づく受入訓練の実施
- ウ 避難元、避難先自治体における情報伝達の確認
- エ 避難者の受付（避難退域時検査受検の有無の確認も含む）
- オ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- カ 災害時応援協定に基づく物資の調達、搬送
- キ 飲料水・飲食物の供給
- ク 避難住民への事故状況等説明の実施
- ケ 新型コロナウイルス感染症対策の防護措置の確認

(3) 避難行動要支援者避難訓練

- ア 児童園児の保護者への引渡し
- イ 引渡しできなかった児童園児は、職員と共に避難先施設等まで避難
美浜町 1施設（美浜中央小学校）
- ウ 福祉施設入所者の避難先施設への搬送等
美浜町 1施設（やはず苑）
南越前町 1施設（今庄老人保健施設）
越前町 1施設（ライトホープセンター）
- エ 在宅避難行動要支援者の避難先施設（福祉避難所等）への搬送
美浜町 1施設（おおい町いきいき長寿村）
- オ 福祉施設、原子力事業者が保有する福祉車両による搬送
福祉車両6台
- カ 放射線防護のための換気設備を使用した屋内退避
- キ 避難先施設における避難者への健康状態の確認
- ク 警察による避難車両のパトカー先導

(4) 原子力災害医療措置訓練

- ア 福井県緊急時医療本部等の設置・運営
- イ 避難経路上における安定ヨウ素剤の配布
配布場所および配布数（4箇所、266人）
（美浜総合運動公園、敦賀市立体育館、越前町役場、県若狭合同庁舎）
- ウ 避難退域時検査および簡易除染の実施
実施場所および対象者数等（2箇所、266人）
（うみんぴあ大飯、小浜市総合運動場）
- エ 原子力事業者、原子力災害医療協力機関の参画
- オ 自衛隊による避難退域時検査、車両除染の実施

(5) 屋内退避訓練

- ア UPZ住民による自宅等での屋内退避行動（戸締、情報収集等）の実施
- イ 避難に備え、非常用持出品（保険証、常備薬等）の準備
- ウ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避
- エ 屋内退避の意義等の理解促進活動の実施

(6) 複合災害対応訓練

- ア 複合災害時における防災関係機関間の情報伝達、対応要請の確認
- イ 自衛隊、海上保安庁による住民避難の支援
- ウ 通行不能道路における道路啓開（障害物排除）の実施（1箇所）
- エ 家屋倒壊により屋内退避できない住民による近隣の指定避難所への退避【再掲】

(7) 緊急時通信連絡訓練

- ア 発電所から事故状況の通報連絡
- イ 国から県および関西広域連合、関係市町への通報連絡、避難指示等の伝達
- ウ 県、関係市町から自衛隊、海上保安庁、警察、消防、その他関係機関への通報連絡
- エ 事故発生から応急処理、復旧までの通信伝達、収受等
- オ 携帯型映像伝送装置等を利用した画像伝送
- カ 北陸地方非常通信協議会等による情報伝達

(8) 災害対策本部等運営訓練

- ア 福井県庁、各市町庁舎、福井県美浜原子力防災センターに災害対策本部等の設置・運営、
情報収集・連絡体制を構築
- イ 災害対策本部等による住民に対する情報提供の実施
（ケーブルテレビ、防災行政無線屋外拡声器、個別受信機、緊急情報メール、広報車、船舶
等による地域住民・立入者等への広報）
- ウ テレビ会議システム等を活用し災害対策本部と現地災害対策本部との対策会議等の実施

(9) 原子力防災センター運営訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの要員派遣
- イ 現地事故対策連絡会議、原子力災害合同対策協議会の開催（防護措置方針の決定等）
- ウ 各機能班の活動
- エ 県および市町現地災害対策本部等と各機能班との連携
- オ 住民等の避難状況の確認
- カ 防護措置方針に基づいた応急対策（避難先等の決定、避難手段の確保など）

(10) 緊急時モニタリング訓練

- ア 緊急時モニタリングセンター等の設置・運営
- イ 緊急時モニタリング実施計画、緊急時モニタリング指示書の作成
- ウ 固定観測局および電子線量計観測局を活用したUPZ圏内の線量率の測定
- エ モニタリングカー、サーベイメータを活用した避難範囲の特定のための線量率の測定
- オ 放射線モニタリング情報共有・公表システム（ラミス）を用いた関係機関との情報共有
- カ 固定観測局等のバックアップとしての可搬型モニタリングポストの設置および測定
- キ 環境試料の採取、受入
- ク 福井県モニタリング本部（美浜原子力防災センター）の設置・運営および後方支援
- ケ 原子力事業者間の相互応援による職員派遣および資機材の提供
- コ モニタリング要員被ばく管理および資機材等の汚染管理

(11) 自衛隊災害派遣運用訓練

- ア 福井県美浜原子力防災センターへの連絡要員の派遣
- イ 住民の避難支援
- ウ 避難退域時検査、車両除染の支援

(12) 交通対策等措置訓練

- ア 主要交差点等における渋滞抑制対策の実施
- イ 道路管理者による道路点検の実施
- ウ 福井県警察本部のオフロードバイクによる避難地域の情報収集活動
- エ 福井県警察警備艇わかさによる美浜発電所周辺の海上警備
- オ 立入制限措置
- カ 警察による避難退域時検査場所周辺道路における交通誘導

(13) 発電所事故制圧訓練

- ア 緊急時活動レベル（EAL）による通報連絡訓練
- イ 本店および発電所における緊急時対策本部設置・運営
- ウ 規制庁ERCとの連携
- エ 発電所における重大事故等発生時の対応
- オ 原子力緊急事態支援組織の参画
- カ 現地支援拠点等の支援体制の確立

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	28	29	30	令和元	2	3
総合防災訓練	日時	平成28年10月30日(日)	平成29年8月27日(日)	平成30年11月9日(金)	令和元年11月1日(金)、2日(土)	令和2年11月14日(土)	令和3年11月13日(土)
	場所	北潟湖畔公園	南越前町日野川河川敷	テクノポート福井、永平寺河川公園	中部縦貫道、真名川憩いの島	栗野スポーツセンター	鯖江市日野川河川敷
	主催	福井県、あわら市	福井県、南越前町、越前市	福井県、福井市、あわら市、坂井市、永平寺町	消防庁 福井県 福井県消防長会 緊急消防援助隊中部ブロック訓練実行委員会	福井県、敦賀市	福井県、鯖江市
	参加機関	93	107	210	170	90	100
	訓練種目	44	41	92	75	45	50
	想定	大雨および地震・津波による災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害	奥越地域における大雨および地震による複合災害	大雨と地震による災害	大雨と地震による災害
参加人員	5,300	3,000	6,000	2,000	700	1,050	
石油コンビナート等	日時			平成30年11月10日(土)			
	場所			福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域			
	主催			福井県石油コンビナート等防災本部			
	参加機関	未開催	未開催	30	未開催	未開催	未開催
	訓練種目			9			
	想定			地震による原油漏れ、防油堤一部破損および余震によるタンク火災			
参加人員			100				
原子力防災訓練	日時	平成28年8月27日(土)、28日(日)		平成30年8月25日(土)、26日(日)	令和元年8月30日(金)、31日(土)	令和2年8月27日(木)	令和3年10月29日(金)、30日(土)
	訓練対象施設	関西電力(株) 高浜発電所、大飯発電所		関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所	関西電力(株) 大飯発電所、高浜発電所	関西電力(株) 美浜発電所
	主催	福井県		国	福井県	福井県	福井県
	参加機関	高浜:150 大飯:100	未開催	191	100	40	100
	訓練種目	13	未開催	13	13	10	13
	想定	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出		全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出	全交流電源喪失および原子炉冷却機能の喪失により、全面緊急事態に至り、放射性物質放出
参加人員	5,546		7,457	8,988	約50	約5,020	

IV 市町別自主防災組織の結成状況

令和4年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福井市	105,638	1,143	74,661	100,756	95.4%
敦賀市	28,973	89	2,225	26,170	90.3%
小浜市	12,086	110	1,303	8,905	73.7%
大野市	11,607	203	6,025	11,089	95.5%
勝山市	7,054	118	1,199	5,433	77.0%
鯖江市	25,421	160	4,408	25,358	99.8%
あわら市	10,228	110	4,400	9,729	95.1%
越前市	31,543	239	9,520	31,543	100.0%
坂井市	32,531	324	4,488	25,074	77.1%
永平寺町	6,291	89	3,621	6,291	100.0%
池田町	909	19	137	710	78.1%
南越前町	3,338	72	981	3,331	99.8%
越前町	7,209	66	1,555	5,810	80.6%
美浜町	3,652	21	6,502	2,552	69.9%
高浜町	4,275	43	759	3,346	78.3%
おおい町	3,267	44	2,244	2,244	68.7%
若狭町	4,948	89	1,294	4,663	94.2%
合計・ 平均	298,970	2,939	125,322	273,004	91.3%

管内世帯数：住民基本台帳法に基づく人口、世帯数調べ（令和4年4月1日現在）

隊員数：自主防災組織の組織編成において隊員または班員等に位置づけられている実働隊員の総数（令和4年4月1日現在）

第4章 防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧（令和4年4月1日現在）

〔固定系〕

区分	局数		設置場所
	多重系	衛星系	
統制局	1	1	県庁
中継局	7		越知山（越前町大谷寺） 久須夜ヶ岳（小浜市堅海） 村国山（越前市村国町） 八ツ杉（越前市別印町） 勝山（勝山市村岡町） 岳山（美浜町早瀬） 青葉山（高浜町中山）
支部局	7	7	7 土木（福井、三国、奥越、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜）
合庁局	1	1	1 合同庁舎（福井）
ダム管等局	12		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管※、龍ヶ鼻ダム下流連絡所※、永平寺堰堤※ 笹生川ダム管、笹生川堰堤※、浄土寺川堰堤※ 広野ダム管、広野堰堤※、榎谷堰堤※ 大津呂堰堤※、河内川堰堤※ ※水防無線局を含む
小計	28	9	
端末局	県出先機関		13 健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭）、 県立病院、福井港湾、敦賀港湾、 衛生環境センター、防災航空事務所※ 坂井上水、日野川上水 ※福井空港は、併設局（防災航空隊）と共用
	市町		17 9 市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8 町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部		7 7 消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 ※鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局（鯖江市・敦賀市）と共用
	国・公共機関等		19 福井气象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター（敦賀、美浜、大飯、高浜）
	小計		56
可搬型地球局		3	
合計	28	68	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 八ツ杉、勝山） 土木事務所（敦賀） 笹生川ダム管
	F W A (18GHz)	1	坂井合同庁舎
	計	12	
航 空 局		6	防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型 46	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所
		半固定型 39	県出先機関 8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
			9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭
		5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井	
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
	携帯型(他機関) 44	原子力センター 3台、地域医療課 41台	
	小 計 199		
	F W A (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
携帯型 10		県庁 1台、防災航空事務所 9台	
小 計 11			
防 災 移 動 局	携帯型 5	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
計	216		
携 帯 局 (ヘリ用)		消防用 2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用 1	
ヘ リ サ ッ ト 局	携帯基地地球局	固定型 1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型 1	防災ヘリコプター
	計	2	
合 計		239	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

令和3年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 ・ 合 庁 局	298,859	24,905	(9局) 2,767
ダ ム 管 等 局	10,096	841	(11局) 76
県 出 先 機 関	8,432	703	(14局) 50
市 町	443	37	(17局) 2.2
消 防 本 部	176	15	(9局) 1.6
国 出 先 機 関	57	4.8	(5局) 1.0
公 共 機 関	86	7.2	(9局) 0.8
原 子 力 発 電 所 等	95	7.9	(10局) 0.8
合 計	318,244	26,520	(84局) 316

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

令和3年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指 令 回 数	280	1,658	869	2,807	879	13	3,699
前年比 (%)	140	96	114	105	121	50	108

[指令種類別]

令和3年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指 令 回 数	3,408	44	236	213	0	3,901
前年比 (%)	107	80	125	146	—	109

(3)一斉指令月別通信回数

区分	令和3年中												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
気警報	44	18	0	2	36	0	88	64	0	0	4	24	280
象注意報	169	142	154	160	128	120	196	153	118	60	140	118	1,658
関係小計	173	95	80	35	72	18	105	78	33	19	39	122	869
事務連絡	386	255	234	197	236	138	389	295	151	79	183	264	2,807
テスト	94	66	75	65	91	68	80	84	63	69	52	72	879
別計	0	1	2	2	2	1	0	0	2	0	2	1	13
全県	480	322	311	264	329	207	469	379	216	148	237	337	3,699
県出先	413	290	305	251	300	192	441	339	204	133	224	316	3,408
市町	5	1	1	2	8	8	0	6	2	2	5	4	44
消防	61	18	4	11	22	10	27	33	10	13	8	19	236
その他	54	17	2	11	21	7	27	33	10	7	8	16	213
別計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	533	326	312	275	351	217	495	411	226	155	245	355	3,901

備考:市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通回教集計表

令和3年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	3,046	2,311	3,363	2,955	2,137	2,566	2,715	2,853	2,690	2,582	2,531	1,867	31,616
三国支部・坂井合庁	2,844	2,768	3,230	3,536	2,848	3,611	3,027	2,791	3,063	3,054	3,108	2,638	36,518
奥越支部・奥越合庁	2,486	2,206	3,026	3,146	2,181	2,578	2,347	2,042	2,002	2,621	2,515	2,016	29,166
勝山中継局 ^(注1)	240	275	356	236	129	180	154	124	130	177	167	198	2,366
丹南支部・南越合庁	3,751	3,772	5,071	5,384	4,356	4,210	4,313	3,915	3,982	4,155	4,214	3,982	51,105
鯖江丹生支部	1,561	1,284	1,884	1,830	1,458	1,392	1,480	1,462	1,249	1,473	1,455	1,417	17,945
敦賀支部・敦賀合庁	2,584	3,054	4,049	4,062	3,270	3,489	3,274	2,823	3,142	3,597	3,420	2,895	39,659
小浜支部・若狭合庁	3,784	3,907	5,485	5,200	4,294	4,381	4,046	3,743	4,037	4,550	4,029	3,480	50,936
福井合庁	2,616	2,919	3,937	4,304	3,056	3,684	3,306	3,135	2,969	3,327	3,219	3,076	39,548
原子力センター	478	402	614	267	372	336	287	313	310	415	432	277	4,503
笹生川ダム管	89	101	208	174	178	167	130	160	91	148	124	128	1,698
笹生川堰堤	0	0	1	5	0	1	18	3	0	7	11	1	47
浄土寺川堰堤	0	1	6	6	1	7	1	24	13	20	15	2	96
広野ダム管	129	130	275	215	229	175	176	196	213	220	211	173	2,342
広野堰堤	7	6	73	2	14	15	10	15	3	22	9	16	192
梶谷堰堤	5	3	8	9	12	21	11	7	4	27	7	24	138
龍ヶ鼻ダム管、永平寺堰堤	67	63	143	70	80	106	70	124	61	71	91	65	1,011
大津呂ダム管	0	0	2	0	27	0	0	0	0	0	4	7	40
河内川堰堤	1	0	0	0	0	10	1	1	1	0	5	10	29
計	23,688	23,202	31,731	31,401	24,642	26,929	25,366	23,731	23,960	26,466	25,567	22,272	308,955

(注1) 恐竜博物館への通信を含む

※土木事務所(支部局)と合同庁舎が隣接している局については、合算している。

4 端末局無線通信回数調

令和3年中

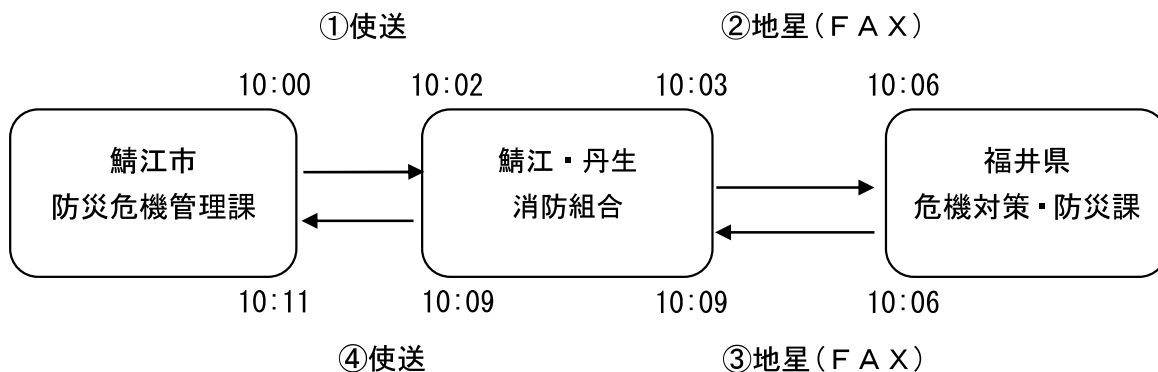
無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	32	福 井 消 防	19	福 井 気 象 台	34
敦 賀 市	21	大 野 消 防	22	鯖 江 自 衛 隊	8
小 浜 市	30	勝 山 消 防	26	舞 鶴 自 衛 隊	7
大 野 市	19	永 平 寺 消 防	10	敦 賀 海 保	5
勝 山 市	53	嶺 北 消 防	25	福 井 海 保	3
鯖 江 市	22	鯖江丹生消防	16	国 出 先 計	57
あ わ ら 市	25	南 越 消 防	29	福 井 駅	10
越 前 市	47	敦賀美方消防	13	N H K 福 井	9
坂 井 市	18	若 狭 消 防	16	福 井 テ レ ビ	9
市 計	267	消 防 計	176	福 井 放 送	11
永 平 寺 町	23	福 井 保 健	72	F M 福 井	7
池 田 町	24	若 狭 保 健	60	日 赤 福 井	7
南 越 前 町	42	二 州 保 健	195	福 井 県 医 師 会	5
越 前 町	21	丹 南 保 健	1,642	福 井 火 力	11
美 浜 町	18	坂 井 保 健	67	福 井 備 蓄	17
若 狭 町	18	奥 越 保 健	55	公 共 機 関 計	86
お お い 町	15	衛生環境センター	2,747	原 電 敦 賀	13
高 浜 町	15	県 立 病 院	125	関 電 美 浜	11
町 計	176	防 災 航 空 隊	32	関 電 大 飯	12
市 町 計	443	福 井 港 湾	373	関 電 高 浜	10
		敦 賀 港 湾	2,260	原 子 力 機 構 ふ げ ん	10
		福 井 空 港	40	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	13
		坂 井 上 水	242	敦 賀 オ フ サ イ ト	7
		日 野 川 上 水	522	美 浜 オ フ サ イ ト	8
		県 出 先 計	8,432	大 飯 オ フ サ イ ト	7
				高 浜 オ フ サ イ ト	6
				原 子 力 発 電 所 等 計	97
				合 計	9,291

※衛星回線による、端末局同士の通信回数はカウントされていない

5 非常通信訓練実施状況

(1) 令和3年度福井県総合防災訓練における非常通信訓練（令和3年11月13日）

・鯖江市役所から福井県あて往復信（消防ルートを使用）

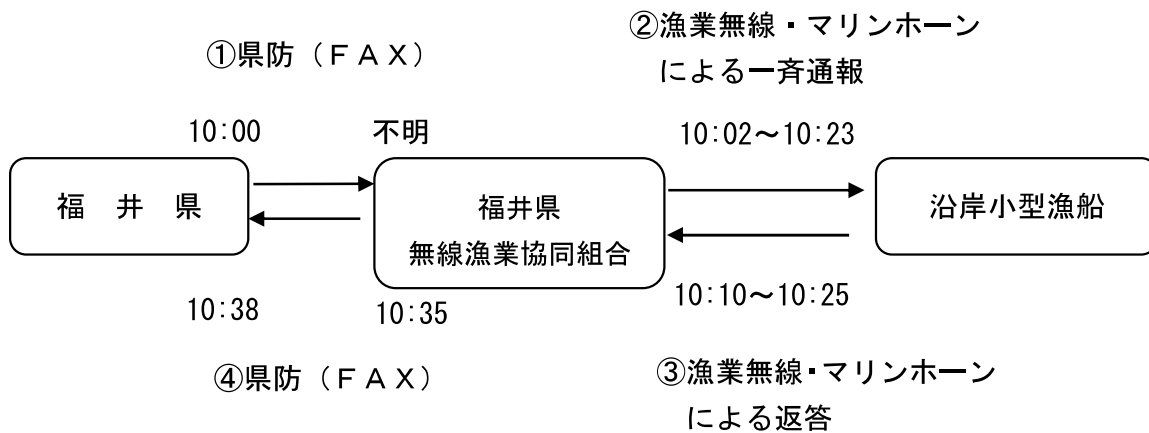


(参考)

- ・ 使送：徒歩または車両等により非常通報文を直接手渡しする
- ・ 地星：地域衛星通信ネットワーク

(1) 原子力総合防災訓練における非常通信訓練（令和3年10月29日）

・福井県から沿岸の船舶に向けて情報発信（漁業無線およびマリンホーンを使用）

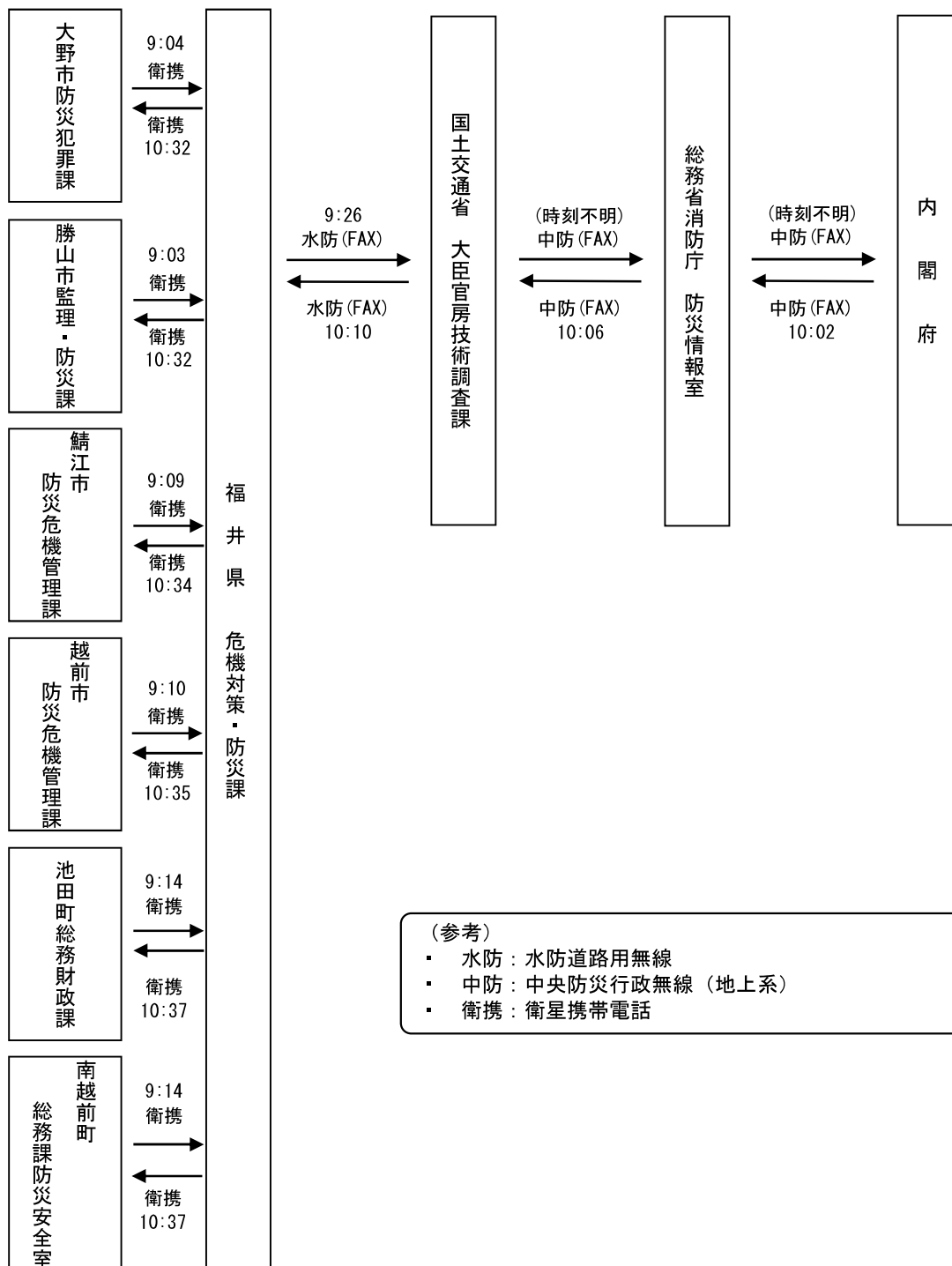


(参考)

- ・ 県防：県防災行政無線（地上系）

(2) 第84回全国非常通信訓練(令和3年11月16日)

- ・奥越地方、嶺北南部地方の各市町から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信。市町～県庁間は衛星携帯電話(ワイドスターII)、県庁～内閣府間は国交省ルートを使用。

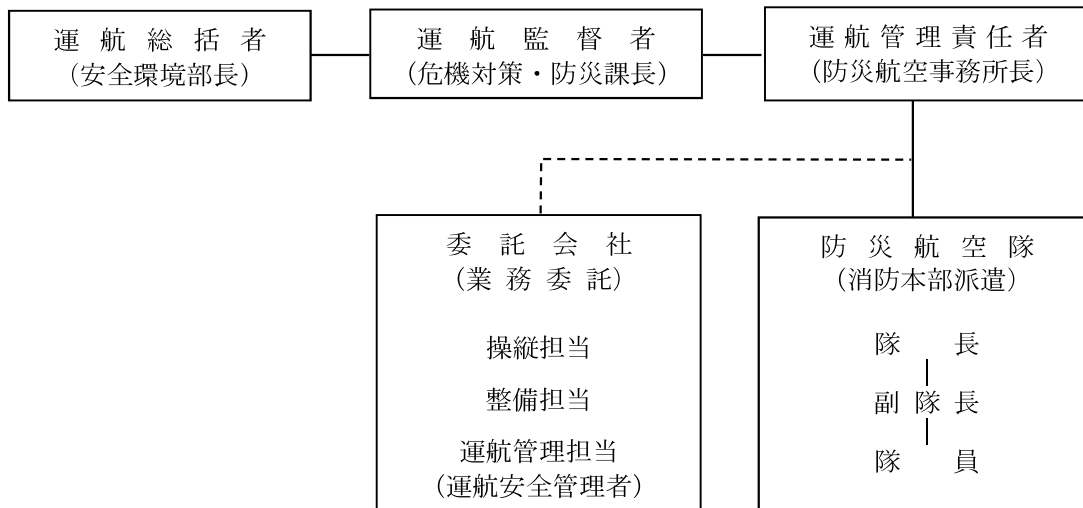


第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

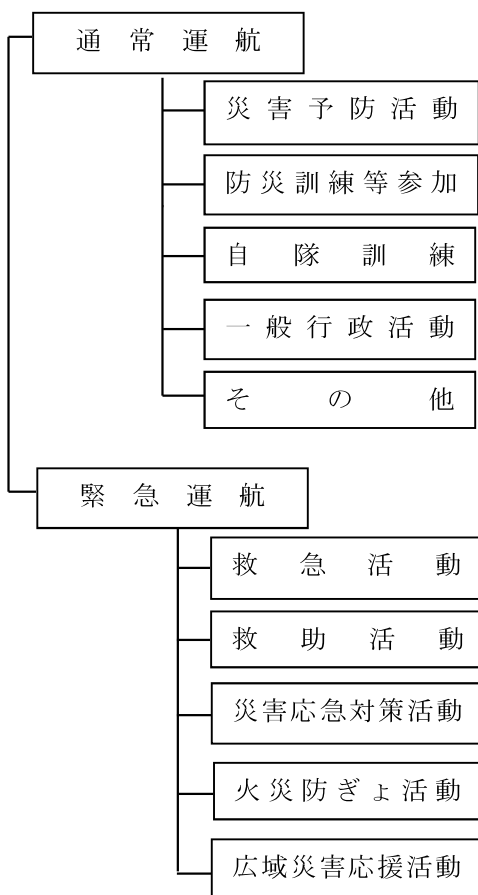
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

令和4年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	連携訓練	防災訓練参加	危険箇所調査	災害予防活動	一般行政		整備
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63	128	10	30	4	3	4	3	245
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62	125	10	29	4	4	3	4	241
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61	145	17	39	3	1	5	5	276
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73	147	11	33	3	1	5	4	277
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69	127	12	33	1	4	8	8	265
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78	154	8	40		2	6	3	291
平成28年度	件数 37 時間 20:50	31 30:03			10 14:41	78	124	18	40		2	9	2	273
平成29年度	件数 28 時間 15:55	40 29:37		1 1:04	14 14:55	83	140	12	27		1	7	3	273
平成30年度	件数 21 時間 15:19	18 9:26	1 0:25	1 0:24	21 12:56	62	166	10	32				4	282
令和元年度	件数 25 時間 13:50	36 24:25	2 1:23		28 24:21	91	150	17	25				4	298
令和2年度	件数 35 時間 16:26	42 23:20	1 1:07	2 1:50	8 8:50	88	155	10	27				1	300
令和3年度	件数 27 時間 10:26	43 30:43	5 3:46	5 5:45	24 14:19	104	158	31	7				4	313
						64:59	172:31	28:44	5:43				7:14	281:18

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

保 安 編

第1章 高圧ガス保安

概況

高圧ガスは、エネルギー、原料ガスおよび先端技術分野における特殊材料ガスなどに利用されるなど、その活用分野は広範囲である。ただし、高圧ガスは有用な反面、高圧状態であること、さらにガスの種類によって可燃性、支燃性および毒性などの化学的な特性があるため、大規模な事故や災害を巻き起こす危険性がある。

このため、高圧ガス保安法等の関係法令に基づく許可や届出義務などによる危害予防のための規制があるほか、高圧ガス事業者および高圧ガス保安協会による自主的な保安活動を促進するための各種の講習会などを通じた保安指導を実施している。

国内全体での高圧ガスの事故は、平成30年の722件をピークに減少傾向が続いている（令和元年656件、令和2年588件、令和3年585件）。

なお、内訳で最も多いのが、冷凍設備がある製造事業所での事故（令和元年304件、令和2年257件、令和3年252件）である。

一方、高圧ガスのうち一般消費者等への販売にかかる液化石油ガス事故については、全国で平成18年に219件（前年比+114件）と急激な増加を見せた後は年によって増減の幅はあるものの、おおむね200件前後で推移しており、令和3年は212件（前年比+14件）である。

県は、法令遵守はもとより、講習会、保安検査および立入検査などを定期または随時実施し、高圧ガス事業者等に対する指導を行なっている。特に、液化石油ガス事業者に対しては、LPガス設備の点検・調査および改善などの法令遵守ならびに事故防止対策の徹底の指導などを通じ、一般消費者等の安全・安心を推進している。

第1表 市町別高圧ガス関係事業所数

令和4年3月31日現在

事業所 区分	製造事業者						販売事業者(店舗数)						貯蔵所						特定消費事業所			水素スタンド	保安機関	容器検査所							
	第1種			第2種			液化石油ガス			冷凍			第1種			第2種			計	一般	液化石油ガス										
	一般	液化石油ガス	冷凍	小計	一般	液化石油ガス	冷凍	小計	高圧法のみのみ	液石法のみ		両方	小計	一般	液化石油ガス	小計	一般	液化石油ガス							小計						
										大臣所管	知事所管								大臣所管	知事所管											
市町	13	21	8	42	27	231	300	105	23	3	6	6	63	78	344	527	7	4	11	17	1	18	29	10	15	25	3	1	75	8	
福井市	13	21	8	42	27	231	300	105	23	3	6	6	63	78	344	527	7	4	11	17	1	18	29	10	15	25	3	1	75	8	
敦賀市	8	5	5	18	18	63	81	23	1	1	3	10	14	14	58	95	2	3	5	14	2	16	21	5	5	10	1	1	8		
小浜市	1		3	4	5	18	23	8			1	4	6	11	27	46			0	4		4	4	2		2	1		7		
大野市	2		2	2	3	24	27	6			5	3	15	23	33	62	2		2	1		1	3	1			1		14		
勝山市	3	7	2	5	2	21	23	1				18	18	18	20	39	1		1	1		1	2		2	2	1		12		
鯖江市	3	7	1	11	12	43	55	5	1		2	1	23	26	53	84	1		1	6		6	7	1	7	8			23	1	
あわら市	3	1	1	5	8	37	45	1				10	10	10	20	31			0	2		2	4	2	2	4	1		7		
越前市	16	8	1	25	5	96	101	21	7		2	2	32	36	67	124	7	3	10	8	1	9	19	9	6	15			26		
坂井市	11	13	5	29	15	83	98	9	1		5	1	46	52	58	119	7	3	10	12		12	22	5	15	20			47	1	
市計	55	60	26	141	95	616	711	852	179	33	3	22	20	223	268	680	1127	26	14	40	65	6	71	111	35	52	86	8	2	219	10
永平寺町		1	1	2	3	14	17	1				4	4	4	17	22				1		1	1	1		1			3	1	
池田町						2	2					2	2	2	2	4													1		
南越前町	1		6	7	7	7	14					3	3	3	6	9													3		
越前町	3	3	6	6	8	18	26	2				1	21	22	12	36				1		1	1	1	3	3			21		
美浜町			1	1	2	5	7	8				3	3	3	6	9	2		2	6		6	8	1		1			3		
高浜町	1		1	1	6	4	10	11	2			2	2	2	6	10	9		9	8		8	17	1		1	1		1		
おおい町					1	4	5	5	1			1	4	5	4	9	2		2	3		3	5	1		1			4		
若狭町	1	3	1	5	2	22	24	29				1	7	8	11	19			1	1		1	2	1	3	4			5		
町計	5	8	9	22	22	76	98	120	5	1	0	1	2	46	49	64	118	13	1	14	20	0	20	34	5	6	11	1	0	41	1
県計	60	68	35	163	117	692	809	972	184	34	3	23	22	269	317	744	1245	39	15	54	85	6	91	145	40	58	97	9	2	260	11

第2表 令和3年度高圧ガス保安法申請等状況

申請等種別		件数
製造	製造許可	2
	製造事業届	37
	製造変更許可	21
	完成検査(変更含む)	21
	保安検査	25
販売	販売事業届	11
貯蔵	貯蔵所設置許可	2
	貯蔵所設置届	1
	貯蔵所変更許可	5
	完成検査(変更含む)	10
消費	特定高圧ガス消費届	1
容器	容器検査所登録	4
	容器検査所登録更新	1
	ガス種類又は圧力の変更	0
計		141

第3表 令和3年度液化石油ガス法申請等状況

申請等種別	件数
販売事業登録	1
販売事業者登録簿謄本交付	0
販売事業者登録簿閲覧	0
販売事業者認定	0
保安機関認定	1
保安機関認定更新	0
一般消費者等増加認定	0
保安確保方法認定	0
貯蔵施設等設置許可	1
貯蔵施設等設置変更許可	1
貯蔵施設等完成検査(変更含む)	2
充てん設備許可	1
充てん設備変更許可	0
充てん設備完成検査(変更含む)	2
充てん設備保安検査	3
計	12

第4表 令和3年度高圧ガス製造保安責任者試験実施状況

種 類	受験者区分	出願者数 (人)	受験者数 (人) (A)	合格者数	
				(人) (B)	合格率 (%) (B/A)
乙種化学	全科目受検者	23	16	7	43.8
	科目免除者	8	8	8	100
	計	31	24	15	62.5
乙種機械	全科目受検者	26	18	5	27.8
	科目免除者	4	3	1	33.3
	計	30	21	6	28.6
丙種化学 (液石丙化)	全科目受検者	30	25	4	16.0
	科目免除者	20	20	20	100
	計	50	45	24	53.3
丙種化学 (特別丙化)	全科目受検者	41	36	13	36.1
	科目免除者	3	3	3	100
	計	44	39	16	41.0
第二種 冷凍機械	全科目受検者	14	9	5	55.6
	科目免除者	2	2	1	50.0
	計	16	11	6	54.5
第三種 冷凍機械	全科目受検者	62	53	26	49.1
	科目免除者	13	12	10	83.3
	計	75	65	36	55.4
計	全科目受検者	196	157	60	38.2
	科目免除者	50	48	43	89.5
	計	246	205	103	50.2

第5表 令和3年度高圧ガス販売主任者試験実施状況

種 類	受験者区分	出願者数 (人)	受験者数 (人)		合格者数 (人)	
			(A)	(B)	(B/A)	合格率 (%)
第一種販売 主任者	全科目受験者	23	19	10	52.6	
	科目免除者	3	3	3	100	
	計	26	22	13	59.1	
第二種販売 主任者	全科目受験者	39	37	7	18.9	
	科目免除者	30	30	26	86.7	
	計	69	67	33	49.3	
計	全科目受験者	62	56	17	30.3	
	科目免除者	33	33	29	87.8	
	計	95	89	46	51.6	

第6表 令和3年度液化石油ガス設備士試験実施状況

出願者 (人)	受験者 (人)	筆記試験合格者 (人)		技能試験合格者 (人)	
		(A)	(B)	(C)	合格率 (%)
9	9	4	44.4	4	100

第7表 令和3年度高圧ガス関係免状交付状況

免状の 種類	製造保安責任者						販売主任者	
	乙種化学	乙種機械	丙種化学 (液石丙化)	丙種化学 (特別丙化)	第二種 冷凍機械	第三種 冷凍機械	第一種 販売	第二種 販売
交付数 (件)	14	6	25	16	6	30	15	39
再交付 数(件)			2			2		1
書換数 (件)			1					
計	14	6	28	16	6	32	15	40

第8表 令和3年度液化石油ガス関係免状交付状況

交付数(件)	再交付数(件)	書換数(件)	計
24	3	15	42

第9表 令和3年高圧ガス事故発生状況

ガスの種類	事故発生日	事故発生市町	事故の概況	人的被害			原因
				死者	重傷	軽傷	
液化天然ガス	R3.5.4	越前市	巡回点検中に加圧蒸発器から異音を感知し、設備の点検を行ったところ加圧蒸発器配管に亀裂を発見	0	0	0	経年劣化による損傷
アセチレン酸素	R3.6.6	越前市	ガス切断作業中に容器が高温にさらされて溶栓からガス噴出し、周囲の可燃物に引火	0	0	0	火気使用時の必要距離が確保されなかった
液化石油ガス	R3.7.13	福井市	ローリー受入後にガス臭がするため点検した際に配管からガス漏えいを発見	0	0	0	圧縮機の振動により発生した応力による割れ
液化窒素	R3.11.16	敦賀市	客先での充填作業時にローリーの加圧蒸発器溶接部からガス漏えいを発見	0	0	0	走行時の振動により発生した応力による割れ
フルオロカーボン	R4.12.2	福井市	機器が異常停止したため、設備の点検を行ったところ、熱交換器からガス漏えいを発見	0	0	0	水質の劣化による腐食の発生

第10表 令和3年液化石油ガス事故発生状況

事故発生日	事故発生市町	事故の概況	人的被害			原因
			死者	重傷	軽傷	
R3.1.29	福井市	共同住宅にて、未使用の末端ガス栓が開いており、そこからガスが漏えいしていた	0	0	0	他業者がエアコン工事をした際に外したガス栓の処置を適切に行っていない

第2章 火薬類保安

概況

火薬類は、土木、採石、鉱山等の事業に使用されているほか、身近なものではがらん具煙火にいたるまで様々な種類があり、多岐にわたって利用されている。

しかし、その取扱いによっては大事故につながる恐れがあり、製造から消費にいたるまで厳しく規制を行うなど、安全性の確保が強く要求されている。

本県においては、県公安委員会と密接な連携のもとに立入検査による法の厳格かつ適切な運用、さらに、取り扱う者自らによる自主保安体制づくりが、事故予防上重要であることから、危害予防週間を通じ保安意識の啓蒙と普及に努めている。

また、許認可については、県では危機対策・防災課の他、奥越農林総合事務所、嶺南振興局で行っているが、煙火および空包の許可については、平成8年度から県内各市町（消防本部）で行っている。

第1表 火薬類関係事業所等数

令和4年3月31日現在

(単位：件)

販売業者	火薬・爆薬および火工品	8
	競技用紙雷管	28
	合計	36
火薬庫	1級火薬庫	14
	2級	0
	3級	2
	煙火	5
	実包	1
	合計	22
庫外貯蔵所	販売業者所有	11
	その他所有	9
	合計	20

第2表 銃砲関係事業所数

業 種	事業所数
販 売	1
製造（修理・改造のみ）および販売	3
計	4

第3表 火薬類（爆薬）の消費量の推移

(単位：t)

業種 年度	鉱山	石灰石	土木	採(砕)石	その他	合計
平成27	15	5	387	68	0	475
28	9	2	508	79	0	598
29	9	3	694	86	1	793
30	12	4	803	152	0	971
令和元	1	0	156	83	0	240
2	1	0	46	159	0	206
3	0	0	85	104	0	189

第4表 火薬類取扱および丙種火薬類製造保安責任者試験実施状況

種 別	出願者数(人)	受験者数 (人) (A)	合格者(人) (B)	合格率(%) (B/A)
甲 種	79	77	34	44.2
乙 種	11	11	7	63.6
丙 種	1	1	0	0.0
計	91	89	41	46.0

会場：9月5日（日）福井県中小企業産業大学校

第5表 令和3年度火薬類保安講習関係講習会実施状況

講 習 会 名	回 数 (回)	受講者数 (人)
火薬類取扱者再教育・保安教育講習会	19	506
火薬類取扱保安責任者養成講習会	1	22
煙火消費保安講習会	1	113

第6表 令和3年度火薬類許可申請等の状況

(1) 県許可申請等

区 分	種 別		件 数 (件)
危機対策・防災課	譲 受	火工品のみ	0
		25kg以下	1
		上記以外	25
	譲 渡		0
	火薬庫設置		0
	火薬庫変更		0
	火薬庫完成検査(設置)		0
	" (変更)		0
	火薬庫保安検査		10
	免状交付		38
	免状再交付		3
	販売営業		1
	計		78
総合事務所 奥越農林	譲 受	火工品のみ	0
		25kg以下	2
		上記以外	20
	譲 渡		14
	計		36
企画振興室 若狭 嶺南振興局	譲 受	火工品のみ	0
		25kg以下	0
		上記以外	5
	譲 渡		3
	計		8
企画振興室 一州 嶺南振興局	譲 受	火工品のみ	0
		25kg以下	0
		上記以外	1
	譲 渡		1
	計		2
合 計		124	

(2) 市町許可申請等

消防本部名	区分	種 別			件 数
		煙火消費	空包譲受	空包譲渡	
福 井 市		10	0	0	10
大 野 市		0	0	0	0
勝 山 市		4	0	0	4
永 平 寺 町		0	0	0	0
嶺北消防組合		6	0	0	6
鯖江・丹生消防組合		4	0	0	4
南越消防組合		13	0	0	13
敦賀美方消防組合		12	0	0	12
若狭消防組合		6	0	0	6
計		55	0	0	55

第7表 令和3年度事故発生状況

発生日	発生場所	区分	状況	被害	原因
なし					

